

(仮) 円山動物園ポスト基本構想

第四回検討部会

平成 30 年 2 月 23 日 (金) 14:00~17:00
札幌市円山動物園 動物プラザ

議事次第

1. 開会

2. 議事

(1) 報告

- ア) 子ども (小学生3年生~中学生) を対象としたワークショップ開催結果
- イ) 大人 (18歳以上) を対象としたワークショップ開催結果
- ウ) 来園者アンケート実施結果
- エ) ポスト基本構想の構成

(2) 意見交換

- ア) ポスト基本構想の内容

3. 閉会

子どもワークショップ「いっしょに考えよう！これからの円山動物園」
開催報告



ワークショップの概要

開催日時：2017年12月3日（日）10:00-15:00

対象：小学3年生～中学生 16名（20名募集 4名欠席）

内容：動物園の取り組みや課題を、園内見学と説明を通して子どもたちに知ってもらい、いっしょに考えてもらいました。グループ討論や掲示板の作成を通して、意見やアイデアを出してもらいました。

プログラム

1. 【アイスブレイク】

雰囲気慣れしてもらえるようゲーム形式（ピンゴ）で自己紹介を行った。

2. 【見学ツアー】

動物園スタッフと一緒に、普段みられない研究施設、保護収容施設、新たに建設されたホッキョクグマ館などを見学し、円山動物園の取り組みや課題について聞いた。

3. 【意見交換】

動物園スタッフも参加した意見交換をひらき、質問、感想、提案を出し合った。意見や感想は、動物たち（イラストや写真）のコメント（セリフ）として、ふせんに書いて、大きな模造紙に掲示した。

開催概要

1. 【アイスブレイク】自己紹介 (10:00~10:30)

動物園センターに集合。挨拶と趣旨説明。

参加者の子どもたちと、動物園職員、スタッフも含めて、アイスブレイク。二人ずつ組みになり、互いに自己紹介。じゃんけんをして、勝ったら動物のシールをもらう。ピンゴ形式のシートに、集めたシールを貼っていく。続けているいろいろな相手と自己紹介を繰り返す。



2. 【見学ツアー】(10:30~12:00)

4人ずつ4つの班に分かれて園内を見学しました。普段みられない研究施設、展示施設などを見学し、円山動物園の取組や課題についての説明を受けました。

<見学コース>ニホンザリガニの飼育繁殖施設、ホッキョクグマ館・オオカミ舎、チンパンジー舎、ニホンザル舎・センターラボ (は虫両生類館、コオロギやネズミなど餌となる動物の飼育室)

各所で職員の方々から、仕事の内容や、工夫している



こと、気を付けている点などを解説してもらいました。各施設または移動中に、「いいね！（アピール）」「こんなはどう？（提案）」「もっとがんばれ！（不満）」シール（ふせん）を使って、各人またはスタッフがふせんに書き出して、首からぶらさげているボードに貼ってもらいました（図参照）。

<移動>



<ニホンザリガニの飼育繁殖施設>



<ホッキョクグマ館>



<センターラボ>



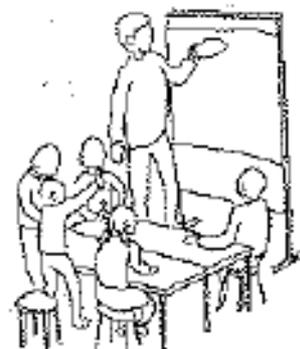
【昼食】(12:00~13:00)



3. 【意見交換】(13:00~15:00)

アイスブレイク：まず話し合い前の練習として、職員の方の好きな動物ランキングをクイズ形式でやりました。各班の職員の方に、事前に5種の動物の中で好きな動物を順位づけてもらい、子供たちがその好きな動物ランキングを考えました。

子ども会議：簡単な午前中のふりかえりをしたあと、午前中に見て回った施設の写真のまわりに、動物の写真やイラストとともに、吹き出し型の付箋に、新しく知ったことや、質問、意見、提案などを書いてもらいました。動物の写真やふせん紙を模造紙に貼って、みんなで見て回りました。



<1班>



<2班>



<3班>



<4班>



【みんなの意見、感想など】

< 1 班 >

(ホッキョクグマ館)

- ・ 檻っぽくなく、広くて生息地に似ていい。
- ・ ホッキョクグマをいろんな角度から見れてよかった。
- ・ プールへのスロープがなだらかになっていた。
- ・ 掃除は優先度が低い。機能だけ高めた施設は生き物にいらぬ。

(ニホンザリガニ飼育繁殖施設)

- ・ 動物園で繁殖して自然へかえす。
- ・ 調査体験がしたい。
- ・ すごいことをやっているアピールをすべき。
- ・ 人が見えないところも整備がしっかりしている。

(センターラボ)

- ・ 密輸されている生き物はどう引き取っているの。
- ・ 密輸動物を減らすために動物園を身近にする。
- ・ 飼育の厳しさ難しさを伝える。
- ・ 展示物を見て、生息地まで行ってみたい。
- ・ 密輸について漫画とかで啓発すべき。

(その他)

- ・ 動物の保全を裏でやっている場所を紹介して。
- ・ 追加料金の印象をよくするためにも飼育ごとのモチーフがあるといい。
- ・ 飼育員の中での当たり前を紹介して欲しい。

< 2 班 >

(ホッキョクグマ館)

- ・ アザラシとホッキョクグマが一緒に見れてスゴイ。
- ・ ホッキョクグマのために、人がホッキョクグマよりも低い場所にしている。
- ・ トンネルがあって下からも上からも楽しめる。
- ・ アザラシが病気になったときのことも考えていてすごい。
- ・ ホッキョクグマ館の奥の方が見づらい。
- ・ 入り口からホッキョクグマ館までが遠い。

(センターラボ)

- ・ ワニがいる水槽が大きくて見えやすい。
- ・ それぞれの動物に合わせた環境をつくっている。

- ・いろいろな角度で見れていい。
- ・えさを増やすためにネズミ、コオロギをたくさん繁殖させている。
- ・カエルの卵スコイ。

(ニホンザリガニ)

- ・ザリガニの繁殖ガンバレ。
- ・ザリガニやカニを食べてしまうから、カメを川に逃がさないようにしよう。
- ・ニホンザリガニを始めて見た。
- ・ザリガニの展示をしてください。

(その他)

- ・無料の送迎バスをつくる。
- ・オオムラサキはエゾエノキしか食べないから木がなくなると死んでしまう。
- ・外国の草を抜く。
- ・募金活動をしてお金をためる。

< 3 班 >

(ホッキョクグマ館)

- ・トンネルのホールにおもちゃが欲しい。
- ・地面がコンクリートではなく草。
- ・同じ動きをしないように工夫している。
- ・海水の水に近い水を入れている。

(センターラボ)

- ・ネズミとコオロギを育ててえさにしている。
- ・トカゲって体温コントロールできるんだ。
- ・密輸動物が保護されている。

(ニホンザリガニ)

- ・コウモリの住処がついている。
- ・食べ物はミミズと落ち葉とアカムシ
- ・卵を 300 - 500 個産む。
- ・ザリガニって食べられるの。
- ・ザリガニほしい。

(その他)

- ・野生に近い状態が見たい。
- ・チンパンジー舎で男の子を増やしたほうがいい。
- ・弱い子のためにいろいろな場所にえさを散らばらしている。

- ・サルの檻を広くして、お風呂をつくって欲しい。

< 4 班 >

(ホッキョクグマ館)

- ・水族館みたいなトンネル。
- ・トンネル部分の亚克力が鏡のようになっていてスゴイ。
- ・ホッキョクグマとアザラシの水槽が分けられているのがスゴイ。
- ・アトリエみたくてとてもよかった。
- ・二酸化炭素を出さない。

(センターラボ)

- ・餌を育てているなんて、予想外でびっくりした。
- ・一人だけで世話をしているのがスゴイ。
- ・食重な両棲類爬虫類を繁殖させることはいいと思います。
- ・動物園だけで子どもを産ませているのがスゴイ。
- ・コオロギが多すぎて気持ち悪いから行きたくない気がする。

(ニホンザリガニ)

- ・野生個体の数やオスメスの数を調査すべき
- ・イスを置いて、研究しながらきちんと管理。
- ・ザリガニはどうやって卵を産むの？
- ・どうしてニホンザリガニは小さいの？
- ・ザリガニのえさって落ち葉だけ？

(その他)

- ・カンガルーの野外施設の木が少ない。
- ・鳥が飛ぶのを緩えるため、すこし高くして。
- ・サルの檻をもうちょっと広くして、温泉みたくして欲しい。
- ・どうして円山に動物園を作ったんですか。
- ・ゴミはゴミ箱にきちんと捨てて。

子どもワークショップ 「いっしょに考えよう！これからの円山動物園」

円山動物園では、これまで以上に素晴らしい動物園になるよう、小中学生の皆さんからいろいろな意見やアイデアを出して欲しいと思っています。このワークショップでは、普段は見るできない展示施設の裏側などを動物専門員と一緒に見学し、動物園での取り組みや工夫について解説してもらいます。また、動物園で働くスタッフが、よりよい動物園作りを目指して、考えたり悩んだりしていることも紹介してもらいます。参加者の皆さんが「いいな」と思ったこと、「もっとこうしたらいいのに」と思ったことを、どんどん提案してもらうことで、「これからの円山動物園」をみんなと一緒に考えたいと思います。

会場：円山動物園

対象：小学3年生～中学生（約20名）

開催日程：12月3日（日）10:00-15:00

応募方法：参加希望の方は、下記連絡先に参加する子どもの氏名、年齢・学年、保護者の方の氏名、連絡先をお伝えください。

なお、受付は先着順となります。



連絡先：

Tel:726-3072

E-mail:zoo@env.gr.jp

担当：NPO法人EnVision環境保全事務所
（中村・長谷川・後藤）

応募受付期間：

11月13日（月）～30日（木）

参加費：無料

中学生以下は入園無料です。

保護者の方も無料でご入場いただけます。

また、お一人分の年間パスポートを進呈します。

昼食：このプログラムはお昼を挟んだプログラムになっています。

参加者（小中学生）には、昼食をご用意します。



スケジュール(予定)

9:30 受付開始

10:00 スタッフ・参加者自己紹介

見学ツアー。動物園スタッフと一緒に、普段みられない施設や仕事の様子を見学、体験します。

12:00 昼食

13:00 みんなでディスカッション。劇内見学で感じたことなど、意見を出しあってポスターをつくれます。

15:00 解散



市民ワークショップ「みんなで考える ～動物園の社会的な役割～」
開催報告

ワークショップの概要

開催日程：2018年2月4日（日）13：00～16：30（受付開始：12：30～）

対象：札幌市民（22名）

内容：動物園には、動物の飼育展示によって来園者に楽しんでいただく以外にも、調査研究、生物多様性の維持、自然環境の保全、教育など、さまざまな役割がある。レクリエーション施設としての役割に加え、動物園はどのような役割を担うべきなのか、参加者の皆さんと一っしょに考える機会とした。質疑応答やグループ討論を通してさまざまなアイデアや提案を出していただき、今後の円山動物園の運営方針の策定等の参考にさせていただく予定である。

プログラム

1. 【解説】職員によるプレゼンテーション

動物園の役割（レクリエーション、絶滅危惧種の飼育や繁殖、調査研究、環境教育など）を、資料やスライドを用いて紹介した。

2. 【見学ツアー】

動物園スタッフと一緒に、普段みられない研究施設、保護収容施設などを見学・体験し、円山動物園の取り組みや課題について聞いた。

3. 【意見交換】

動物園スタッフも参加した意見交換をひらき、質問、感想、提案を出し合っていた。

4. 【まとめ】

ご自身の意見や感想を、記述式のアンケート票に、参加者の方それぞれに書いていただいた。

開催概要

1. 【解説】職員によるプレゼンテーション (13:10~13:40)

動物園の役割を資料やスライドを用いて紹介した。

<動物園の役割>

- ・動物園の4つの役割
 - ①レクリエーション、②種の保存、
 - ③教育、④調査・研究
- ・一時避難場所、野生復帰を目指す場所としての役割
- ・動物園でしか得られないデータの集積や飼育下での種の維持



<環境教育（保全教育）>

- ・飼育員による解説
- ・教育プログラム：学校向け
- ・動物園ボランティアによるガイド
- ・有料プログラム：資金集めの一環。欧米では人気が高い。

<展示方法>

動物は野生を知る“大使”的な役割。できるだけリアルな飼育環境にする。

- ・機能展示：動物にとって機能的。来園者から見てイメージが良いとは限らない。
- ・リアルな展示：動物も来園者も生息地の環境に溶け込ませる工夫。高コスト。
- ・メッセージ：欧米では看板専門の部署もあり、映像の活用も進められている。
- ・日本の動物舎デザイン：予算が少ない。野生の環境をイメージし難いものが多い。→市民に歪んだ動物観を植え付ける恐れがある。動物園はその街の住民の性質を表す鏡といわれる。

<動物の福祉>

- ・屋内外問わず、二十四時間、動物の幸せを考えた施設づくり
 - 屋内でありながら自然環境を極力再現するのは世界の流れ。
 - 例) 動物は時間の大半を採食に費やすため、食物をあえて隠す等の工夫。
- ・ハズバンダリートレーニング：動物の健康を維持するために動物に協力してもらう。
 - 動物が楽しみながら健康管理ができるようにしている。
 - 例) 採血のために手を出す訓練

2. 【見学ツアー】（13：40～15：00）

普段みられない研究施設、保護収容施設などを見学・体験し、円山動物園の取組や課題について説明した。

<は虫類・両生類館センターラボ>

希少動物の保護、繁殖、育成を行う施設

- ・両生類の箱舟計画
 - ：国内外の両生類について種の維持、繁殖に取り組む
- ・密輸された生物の保護
 - 一度持ち込まれると元の生息地に帰すことができないため、希少種の保護、繁殖に取り組む。
- ・地元の種の繁殖
 - 例) アオダイショウ：何かあった時のために繁殖技術を確認しておく
- ・餌となるコオロギ（フタコシコオロギ）、ネズミの飼育
 - 冷凍の餌は質が良くないため、自分たちで増やしている。



<新設中のホッキョクグマ館>

- ・種の保存などには、動物園間の連携が必要。動物園はつながって初めて機能する。

<オオカミ、エゾシカ舎>

北海道に関わる動物の展示

- ・オオカミとエゾシカの共存は、昔は北海道にあった環境であることを知ってもらう

<猛禽類野生復帰施設>

野生復帰を目指し、人に慣らさないために非公開としている。

質問：ここの鳥も野生に帰すのか。

訓練専用ケージがある。放す場所に併せ、餌の捕り方も教える。鷹匠の技術が役立つ。

質問：他の動物園にも同様の施設はあるのか。
あまりない。バックヤードは自慢。



<建築中のゾウ舎>

今秋にはミャンマーから4頭（メス3頭、オス1頭）のゾウが来る。ゾウを飼育する際は、群れで飼うことが決められている。ミャンマーについてゾウを通して伝えたいと考えている。



<ニホンザリガニ繁殖施設>

生活排水の影響を受けやすく、局所的に絶滅している。北海道大学と共同でザリガニのDNAを調べている。DNAに地域差がなければ、同じ場所に放すことができる。



質問：昔はゆでて食べていた。

人間が食べるために獲るという影響はそれほど大きくない。今は外来種のウチダザリガニとニホンザリガニの生息環境が被り、食べられてしまう。

感想：素晴らしい活動。ウチダザリガニのことを知らなかった。

3. 【意見交換】（15：00～16：15）

動物園スタッフも参加し、質問、感想、提案を出し合っていた。

<主な意見、感想など>

- ・子どもの頃のイメージとは違い、多種多様で驚いた。
- ・このような市民参加の機会は良い。
- ・動物園の外との連携が必要では。
- ・今日のことを他の人に話したい。
- ・学校への出前授業の実施。
- ・研究に力を入れていて意外だった。
- ・動物園の取り組みをもっと工夫してお知らせしていく必要がある。



- ・環境問題を考える場にもなるのでは。

4. 【まとめ】(16:15~16:30)

<スタッフ側の感想>

- ・僕らが長年考えていた核の部分がどんどん出てきて参考になった。
- ・情報発信が弱いことが課題だと分かった。
- ・ボランティアさんと積極的に関わろうと思った。
- ・ハードルを少しでも下げれば、皆さんに来てもらえる可能性がグッと上がることが分かった。
- ・動物を一緒に守る仲間になってもらいたい。



意見感想の抜粋

＜問2＞ ワークショップの進め方と内容について伺います。ワークショップの中で、良かった点や興味が深まった点はありますか。また、物足りなかった点や改善が必要な点はありますか。教えてください。

- 今まで知らなかったバックヤードでの裏側を見て、また説明も聞けてとても良い経験になりました。最後にたくさんの人の意見がきけて良かったです。(10代女性)
- 動物園の見方が、良い意味で変わりました。ハズバンダリートレーニングは知らなかったです。動物たちがいかに自由に不便なくすごせていることが知れて良かったです。もっとあたたかい時期にも、ゆっくり聞かせて頂きたいと思いました。(20代女性)
- 海外の動物園の事例が聞けて、理想とする動物園というものが想像しやすくなった。ワークショップを午前を実施して、午後はフリーで園内を見学できる時間(可能であれば飼育員さんのガイド付き)があると嬉しい。(20代女性)
- 全体的には良かったと思いますが、見学ツアーは裏側が多かったので、もう少し表面の部分も見かけたです。
・ワークショップで話し合っただけの内容としての項目を、もう少し具体的にしたい方が良かったと感じました。あまり、保全や動物園の役割という話題にならなかった。(20代女性)
- バックヤードツアーで解説をうけながら裏側を見学できてとても良かったです。話を聞いているとあっという間だったのでもっと時間があっても良かったです(園内全てまわる位でも)。ほかの皆さんとの議論でも色々な考えがあるとわかり良かったと思います。(30代女性)
- ふだん入ることのできない所へ行って、円山動物園の取り組んでいることにふれることができ、新鮮でした。スライドも、園の方のお話も、もっときいてみたいと思いました。(30代女性)
- 普段はレクレーション施設として捉えていた「動物園」の存在意義について考えさせられた。ワークショップに関してもめったに参加することがないので楽しかった。最初からテーマを伝えていてもよかったのでは。(30代女性)
- 参加者の意見を引き出し、活発な意見交換ができて良かったと思います。動物園の存在意義について、周りへの意識付けが必要と多くの方が考えているので、おどろいています。海外の動物園との関係等、初めて知った事も多々あり、良かったと思います(40代男性)
- 型にはめないで各個人の考えていることを引き出す目的であれば、この様な形式で話を引き出すのは有効だと思います。少しでも動物園のためになるのであれば幸いです。(40代男性)
- バックヤードを見学できて良かったが、もう少しゆっくり説明を聞きたかった。(動物の飼育方法、性格、個性等)(40代女性)
- 外国から持ち込まれた動物が、動物園で引きとられていることを初めて知りました。感染病問

題等も在ると思いますが、職員の皆さまの苦勞をもっと発信して欲しいと思います。広報さっぼろなどにもっと載せても良いと思います。町内会等とタイアップして、動物園見学ツアーを増やしては如何でしょうか？お年より向けのツアーとか。(50代男性)

●バックヤード内の施設を見て、その取組みの説明で、普段知らない園の事が知れたこと(研究等)。(50代男性)

●動物園の方が、こちらの質問に対し丁寧に答えてくださったので、動物園の実情等がよく理解できた。(50代男性)

●バックヤードを見ることにより、動物園の苦勞を知る事になりとても良かった。(50代男性)

●あまり肩を張らずに進めるリーダーが良かった。案内してくれた本田さんの姿そのものがすばらしかった。第2第3の本田さんが出てきますように！(60代男性)

●バックヤードや立入禁止区域の施設を見れたことが良かった。飼育員さんの取組みのお話を聞けて良かったです。もっと深く知りたい気持ちがあります。今日体験したことをもっと能動的に発信してもらいたいです。(60代男性)

●動物の命について、動物園で働いている方々が日々むきあってお仕事をしていることが伝わってきました。来園者にとっては娯楽、動物園にとっては教育。とても印象的です。私もそう思います。(60代女性)

●動物園の裏側を見ることができて良かったし、楽しかったです。そして、職員の方々の大変さも少しはわかったと思います。大変かもしれませんが、この様な取組みをもっと増やしてたくさんの人に動物園に興味をもってもらおうようにすると良いのでは？(60代男性)

●園の運営、飼育について理解出来たことが多々ありました。(70代男性)

●動物園の各国の数の資料が10年前であったのはいかがか。学術的用語・外来語が多い(エンリッチ、バックヤード)。円山動物園の歴史、沿革の説明が必要。市民参画の企画は良かった。(70代男性)

●動物園の役割についての説明が、わかりやすかった。(70代女性)

●大変興味深かった。今まで知らなかったことを専門の方の説明で知識を得て、これから楽しく動物園の見学が出来ると思う。(70代女性)

<問 5> 今日のワークショップに参加して、動物園について新鮮に感じた点や、これまでと認識が変わった点がありますか。新たな発見や、動物園に対するイメージの変化などがあれば教えてください。

●動物園の表側しか見たことがなかったのでバックヤードでみるものはどれもとても新鮮に感じました。その中では虫類のえさを育てている地下には少し衝撃をうけました。だけど何を食べて育っているとかが知れて良かったと思います。(20代女性)

- 展示して、終わればしまう。みたいなイメージが変わりました。(20代女性)
- 希少動物の保全是、きっとやっているんだろうなというイメージはあったものの、知る機会がなかったため、取組を聞いて良かった。外来種の保護も動物園がやっていること。(20代女性)
- 15年以上前に来て以来だったので、昔の円山動物園のイメージとの違いが大きくて驚きました。どの建物も新しくなり、工夫は沢山されていると思いますし、一方で保全や保護に力を入れている様子も初めて見れたので、とても勉強になりました。一度知ると、また来たくなる動物園になったと感じました。(20代女性)
- 市の施設であると、改善したくても中々実行できずに難しい状態なのだということがわかりました。税金を使うということの難しさは職員さんのお話を伺うまであまり感じておらず、「もっとこうしたら良いのに」「あそこのあの展示みたいにすればいいのに」等と軽々しく感じておりました。海外の動物園が充実しているのは国策でそうになっていたとか、今日のワークショップでお話を伺って知りましたのでとても勉強になりました。(30代女性)
- 檻のイメージ、そして、なかなか動物が動かないので、博物館的な印象がありましたが、動物との距離が近くに感じられる所も何か所かあって、これから動物園がどうなるのか楽しみにになりました。(30代女性)
- 職員の方の熱意が伝わった。また、日本の動物園が国際的な基準を満たしていないという点も勉強になった。(30代女性)
- 参加前には、生物多様性の取組みや学術的な取り組みをしている事はあまり知らずにいましたが、積極的に行われており今後は楽しみに感じております。また、7~8年振りに見学し、とてもいい意味での変化があり、今度はゆっくりと訪れたいと思っております。(40代男性)
- 20年前に子供達と来た時から展示の仕方なども工夫され進化していると感じました。さる山の前で写真が思いだされ少しセンチメンタルな気持ちになりました(息子は24歳で180cmはありますからもう抱っこすることはできません)。ニホンザリガニの保護、円山という土地を利用した(一体感を持った)動物園の在り方を考えている点など感心いたしました。(40代男性)
- 新しい施設が増え、休憩スペースも増えてはいるが、まだまだ足りないと思います。コンビニができて良かったと思います。今までは食堂売店だったので。(40代女性)
- 外国からの動物の取組み(違法輸入動物の引き受け等)。イベントの関係について(動物そのものとの関りや関係を持つイベントが多いと良いと思う)。月食等のときに動物の行動は変わるのか、いつもと同じなのかとか。月齢を見ながら他の動物の行道を観察するとかそういうものがあったら良いのでは?(50代男性)
- 今迄とは異なる新たな取組をしている(新しい施設等)。国などと研究していると初めて知った(50代男性)
- 北海道に生息する動物のみでなく、その他の地域に生息する動物の保全にも力を入れていること、世界の動物園とつながっていることを初めて知った。又、職員の方々の動物に対する姿勢、

見方がすばらしいと思った。(50代女性)

- 人気のある動物を展示する事が、動物園の大きな役割だと思っていた自分が恥ずかしくなりました。種の保全。これからは裏の苦勞を感じながら、動物園に来たいと思います。(50代女性)
- こおろぎの成長過程を、3日毎に調査している状態に感心した。(60代男性)
- 飼育員さんの日ごろの取組みがとても理解できました。(60代男性)
- 展示することを中心に日々お仕事をしていたらと思っていました。実は、それは間違っていました。動物の保全のため福祉を考え、展示方法を考え、命を伝えることを考えていることがわかりました。世界的に誇れる動物園であると思いました。(60代女性)
- 動物園が、ただ動物を見に来るだけではなく、動物の生態や、生きている様子を見せているのだと感じた。動物に、政治もからんでいるとは思ってもよらなかったです。(60代女性)
- バックヤードを見させてもらって、きめこまかな対応を知りました。(70代男性)
- 市民参画のイベント・企画は画期的であり、NPOの存在を強く感じた(70代男性)
- 希少動物の繁殖にとっても感動した。ニホンザリガニをひさしぶりに見られて感動した。(70代女性)
- ふだん見れないバックヤードの見学。地道で大変だろうと思った。(70代女性)

<問 6> 公共の動物園は、広く社会的な貢献をすることが求められます。動物園の社会的な役割として、あなたが大事だと思うことを教えてください。

- 動物が生きているのがあたり前ではなく、たくさんの人の手がかかっている事を伝える。(10代女性)
- 希少動物を野生に返す運動。保護も、大切に思います。(20代女性)
- 動物についての知識を提供することが最大の役割だと思う。その中で生態だけでなく、環境問題などは、知りたい人が知れるように看板に書いてあったりすると良い。動物については子供にも分かりやすく、環境については大人の読み物で良い。企業に対して、大人の遠足などの名目で動物について考える機会をあたえる(会社行事)等。(20代女性)
- 動物の飼育、保全の場。どんなに見ばえがしたり、新しいエリアがあっても、動物の事故などマイナスなことがあっては、本来の動物園ではないと思うので。その安全性等の確保のために、ある程度の人員や予算の増加は必要だと思います。(20代女性)
- やはり動物たちの種の保全が第一だと思いますので、その動物達が動物園に来ることになった経緯等も詳しく展示していくべきだと思います。説明文が長いと読む気がしなくとも、提示することに意義があるかと思います。(30代女性)
- 北海道は、固有の野生動物が多く生息しているので、共存していける関わり方、環境や生態、病気(人にうつってしまうもの)などを、教えてほしいです。子供などに対して学校でも。(30代女性)

代女性)

●対外的に、その地域の文化をしめすものであると思う。立派な美術館や動物園があることは、その地域のイメージアップにつながると思う。(30代女性)

●希少動物・保護・学術的な研究等多くありますが、子供を始めとした生き物との関わり方から始めた取組みは維持する必要があると思います。まずは動物園に多くの人々が関心を持ってもらい、理解をされる事が、必要と思います。また、北国ならではの研究も更に進めて欲しいと思います。(40代男性)

●デジタルではない生き物の姿を見せてくれている点。生き物である以上死というものがあることを考えてくれる点(40代男性)

●気軽に行きやすい、大人から子供まで楽しめるように。せっかく飼育しているので、幸せに一生を過ごせるように見える環境。まだ柵ごしが多い気がします(ペンギン、鳥類)。(40代女性)

●公共の施設と言うことで、その存在意義や、動物園が困っていることなど、それを正直に発言してみるのも良いのではないのでしょうか?当然批判なども出て来るとは思いますが、中には良い意見を持った人達も居るとは思います。(50代男性)

●種の保存、研究(50代男性)

●種の保存が大切だと思う。外来種を排除するかなど難しい問題もあるが、希少動物は絶やさないうで欲しい。(50代女性)

●楽しく動物の事が学べる所。(50代女性)

●命の尊さを!(60代男性)

●人間以外の生物の命の大切さを理解する役割が大きいと思います。そして、人間もその一部で、命として平等であると考えられる機会を与えてくれることが大事だと思います。(60代男性)

●次世代をになう子供へ、どう命の大切さを伝えていくか。または、種の保全のために行われていること。研究の成果を伝える。(60代女性)

●動物の生態を、もっと知らせる努力が欲しい。情報を発信するためにもっと、新しい動物がくる等、アピールしていけると良いのでは(60代女性)

●今の状態で十分貢献されています。(70代男性)

●教育と観光の両面により、社会とのつながりが大事(70代男性)

●子供達に、動物とは何か、生れる時、死をむかえる姿を、身近に見られる。(70代女性)

●命の大切さを知ること。(70代女性)

<問 7> 円山動物園がこれからもっとよい動物園になるために、どのようなことに力を入れて取り組めばよいでしょうか。アイデアやご提案があれば、ぜひ教えてください。

●子供うけがいいのは体験型が一番だと思います。えさやりとか展示室のそうじとか。あまり来

るイメージの少ない中高生向けには、動物と関連づけたフォトスポットとかインスタ映えしそうなデザートとかがあったらいいと思う。ネット社会だからツイッターとかインスタでさかんに投稿があれば興味をひく事ができるのかなと思った。(10代女性)

●WEB, ネット、SNS での告知。まずは来てもらい、また来ようと思わせられる取り組み。そこから得られる口コミ。応募して当たったら何月何日に～出来ますよ or 見られますよ！などの特典。(20代女性)

●本来の動物が生活している環境を再現した展示。動物を主役にしたイベントの開催。カメラ好きが多い印象なので、写真の撮り方講座とかコンテスト。カメラメーカーと連携して、カメラを持っていない人には貸し出しをしてカメラの楽しさを知ってもらうイベント等。(カメラ購入と動物園来場数アップねらい)(20代女性)

●現在の姿も、昔(15年前)より発展して、素敵になっていると感じましたが、なかなか情報が入らないので、全体的な宣伝活動に力を入れて欲しいです。せっかく良くなっているのが、もったいないと思ったので、広い範囲への宣伝に力を入れて欲しいです。また、何か目玉になる物を考えると良いと思います(動物の展示だけでなく、レストランのメニューなど。ネットで探して画像が出てくるような写真ばえする物、場所)。

・ハード面として、交通の不便さはあるので、シャトルバスや道路の整備などはできたら良いかと思います。(20代女性)

●草食動物のエサ作り～エサやり体験(有料)←子供・女性向け。肉食動物のエサやり体験(有料)←コアな人向け。※直接あげるのではなく、動物のエンリッチメントにもとづくものなど、参加型のイベントがあるととても良いと思います。(30代女性)

●行きやすさ、発見、楽しくなれる、この3つは大切かなと思います。行って感動した、何か心が動いたなど、それが動物を感じられるもの(近い距離で見るとか)なら、とくにいいのではないのでしょうか。北海道の野生動物、冬の雪で元気な動物も、どんどん教えてほしいです(逆に夏元気だけど、冬は全くだめな動物とか)。名物の飲食もあればいいですね。ついでに、入園料iαでお金を取って、動物のために使ってもらえる使い道を、こちらで選べるのはいいと思います。(30代女性)

●ごちゃごちゃとしたサービスではなく、ブランド力のある施設になってもらいたい。来訪者に「非日常感」を提供してくれるものになってほしい。動物に優しい展示というのは、今後最も求められることだと思う。素晴らしい展示を期待する。(30代女性)

●施設的には多く改善されていますので、引き続き更新、維持を進めて下さい。全体的なレベルアップを計るためには、より多くの人々に知ってもらい、来園してもらう事が必要だと思いますので、メディアを活用した広報活動に力を入れる事が必要だと思います。観光ガイド、フリーペーパーも上手に利用すれば、インバウンドも含めた来園者の増加につながると思います。(40代男性)

●もっと札幌市民に動物園があるありがたさや喜びを伝えて欲しい。職員の方には、動物のどう

いう所を見て欲しいのか、積極的にアピールして欲しい。動物園は動物たちが主役でいい主役をひきたたせる演出を期待しております。(40代男性)

●公共機関→バスのアクセス、駐車場拡大。空港、JR、地下鉄等の広告。ふれあい動物園スペース拡大。子供と大人と来る目的が違ふと思います(間近に見れる)。冬でも魅力を感じる雪を生かした飼育。体験 何の為の募金がわかれば有料も一部可と思います。(40代女性)

●動物園に来やすくなる環境が欲しいです。市役所の一部に、週替りで動物園のイベントスペースを作るとか。創成川通りでのミニ動物展示をして、興味を持って来てもらえる様にするとか？動物園と円山公園駅の間に動物園までのサインをふやして、動物園に誘導するとか？以上、今後の活躍に期待します。皆様これからもはげんで下さい。(50代男性)

●積極的に情報を発信する市民に親しまれる動物園。今回、この機会を与えて下さってありがとうございました。(50代男性)

●動物の展示以外の見えないところでの保全等の活動をもっと広めてほしい。学校への授業だけでなく、大人を対象としたものを実施し、市民に知ってもらい、動物の知識を共有するようにしてほしい。→ニュース等も興味をもって見るようになる。今日はよい勉強になりました。ありがとうございました。(50代女性)

●体験(ふれあい・エサやりなど)させてもらえる機会が増えるといいな(平日も)。食べ物の充実。円山でしか手に入らないグッズなどがあれば良いと思う。(50代女性)

●ホッキョクグマの第2のヒーローを作る。(60代男性)

●情報発信力をつける必要があると思います。円山動物園出版局をつくって、学校、図書館、児童館などには、必ず関連性があるようにすべきです。難しいものでなくても良いので、絵本からお願いしたいです。(60代男性)

●よろこんで、楽しんで、何があるのかなあと興味を持って、子供たち、大人が足を運びたくなる動物園。研究の一部を紹介する。そういう意味でも、この様な機会は大切ですね！(60代女性)

●子供も大人も、また行きたくなる様な動物園にしていく。すごく楽しい発見ができる様な動物の見せ方をする。体験型を増やす(職員の負担になる？)(情報発信の舞台をつくって専門に情報発信する)(60代女性)

●動物園の運営、飼育は大変なご苦労とお察しいたします。動物(ライオン等)が広場を走る姿を見るのも楽しいと思います。動物にとっても運動することで、体力が付き、檻等狭い中で過ごすストレスも解消されると思いますので、実現できる施設を作るのも一考と思います。(70代男性)

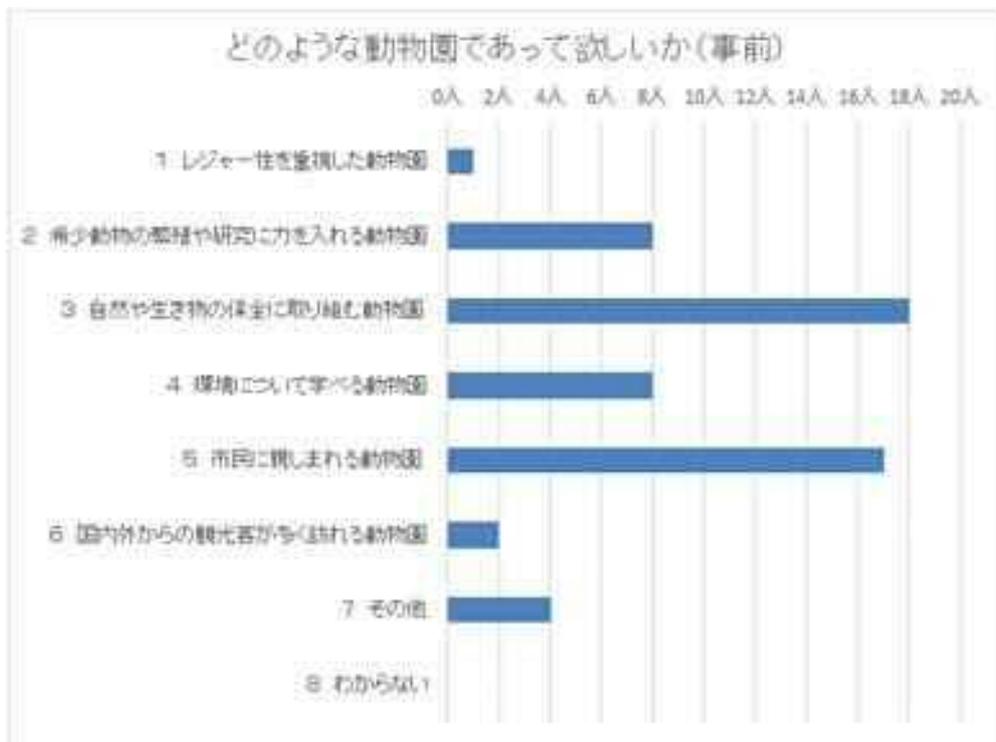
●11年振りにミャンマーから象の保有・展示に関し、広報「さっぽろ」・TV/新聞にキャンペーン特集をして、PRしてもらいたい。(70代男性)

●動物本来の行動が見られる様に出来るといいですね。(70代女性)

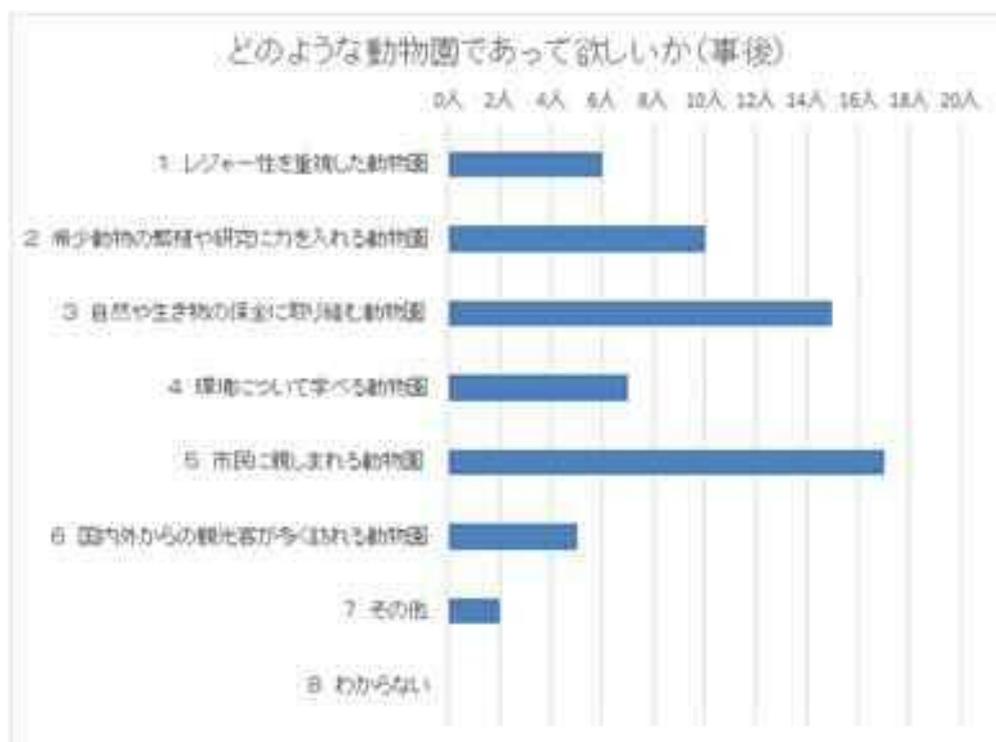
●市民に円山動物園のことを知ってもらい、新しい情報はもっとアピールする。(70代女性)

【問】あなたは、円山動物園がどのような動物園であってほしいですか。優先順位が高いと思うものに3つまで○をつけてください。

事前アンケート(ワークショップ申し込み時)

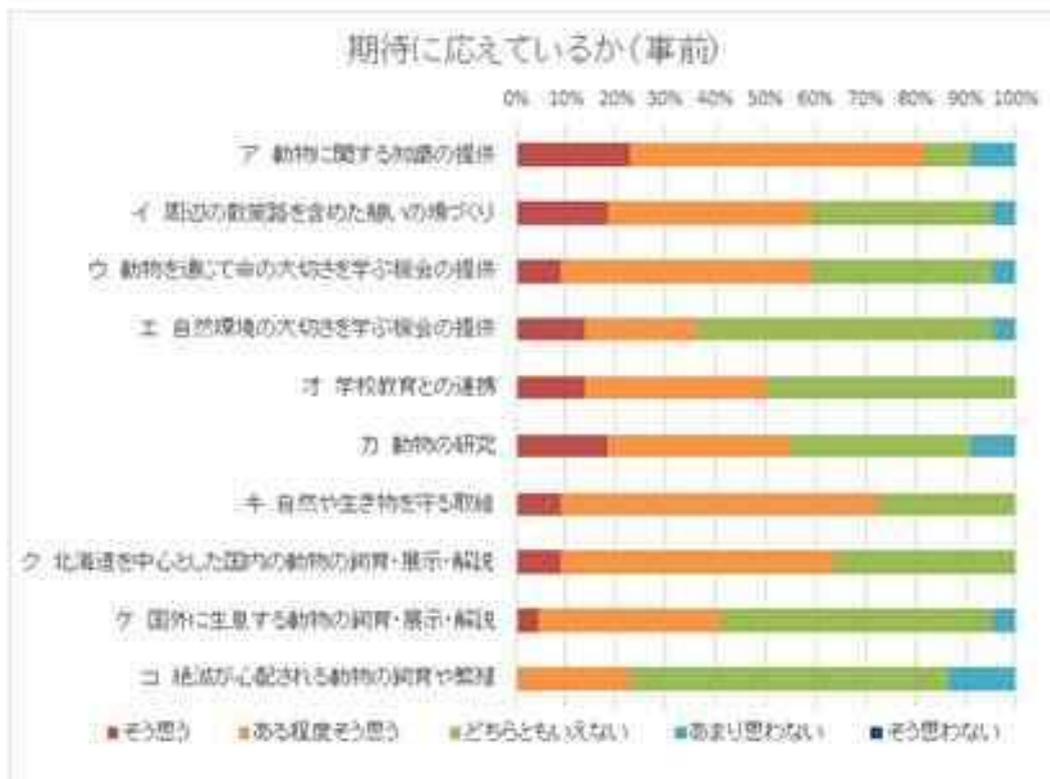
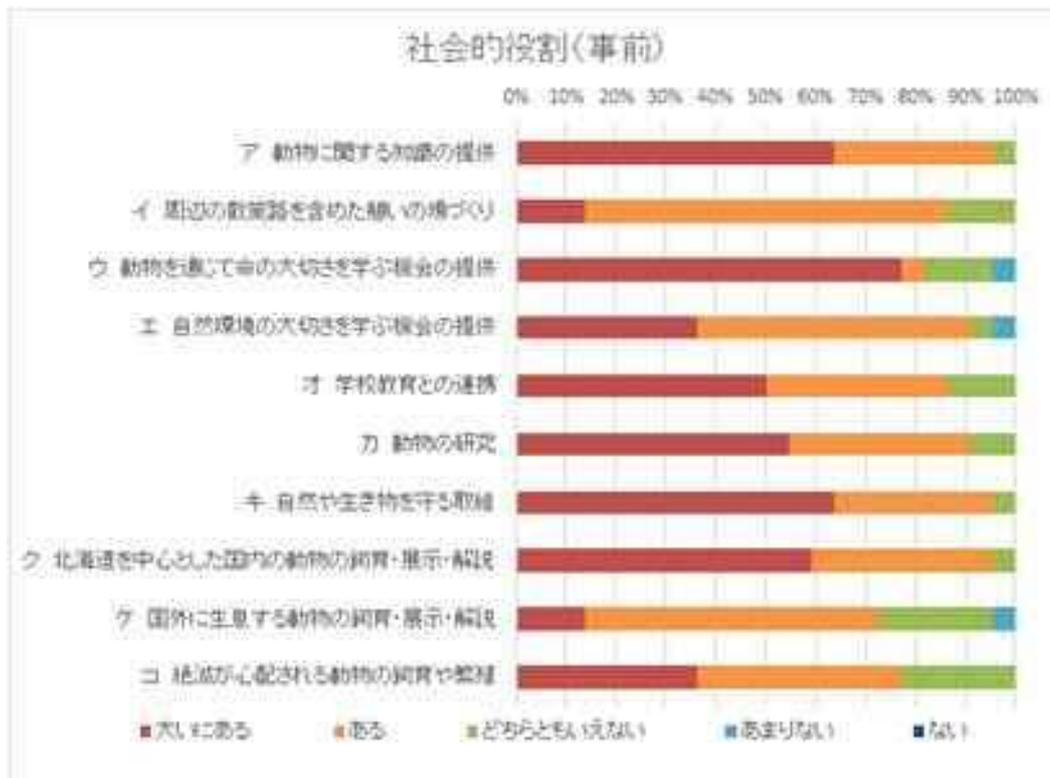


事後アンケート(ワークショップ終了時)



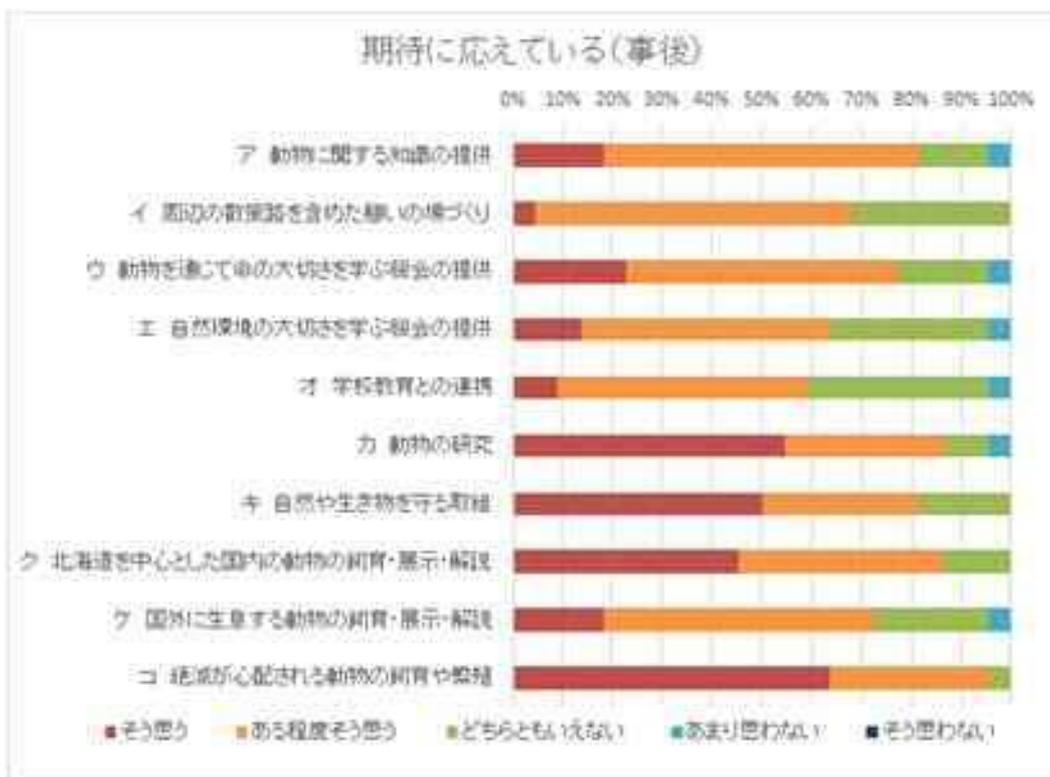
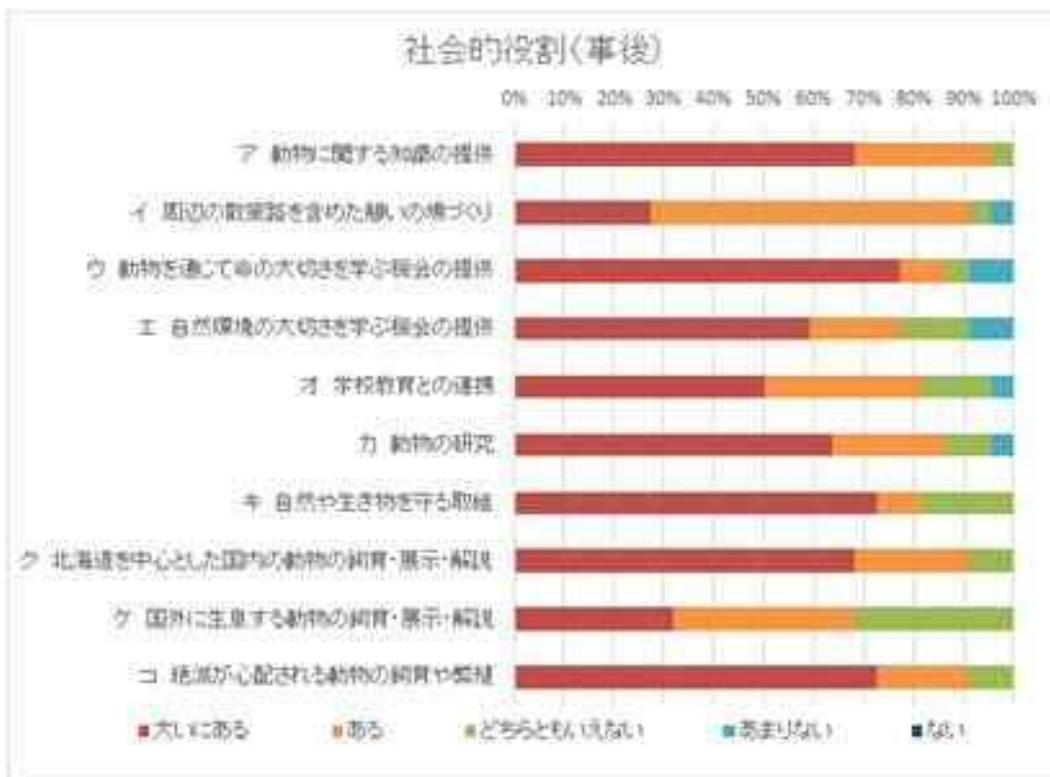
【問】あなたは、円山動物園にどのような社会的役割があると思いますか。また、円山動物園がその役割への期待に応えていると思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

事前アンケート(ワークショップ申し込み時)



【問】あなたは、円山動物園にどのような社会的役割があると思いますか。また、円山動物園がその役割への期待に応えていると思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

事後アンケート(ワークショップ終了時)



円山動物園 市民ワークショップ 参加申し込み書

(あて先)札幌市円山動物園長 加藤 修

私は「市民ワークショップ みんなで考える～動物園の社会的な役割～」の目的及び趣旨を理解し、平成30年(2018年)2月4日に実施するワークショップへの参加を希望します。また、参加した場合には、円山動物園のホームページ等においてワークショップの様子(写真)を公表することを承諾します。

お名前(フリガナ):	
ご住所:	
電話番号:	
年代:	歳代
性別: 男性・女性	

※すべてご本人様が直接ご記入ください。

札幌市個人情報保護条例第8条に基づき、記載された内容については、本事業目的以外には使用いたしません。

■恐れ入りますが、以下の質問にもお答えください。

★参加を希望していただいた最も大きな理由は何ですか？(1つに「○」をつけてください。)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. テーマに興味がある | 2. ワークショップの仕方に興味がある |
| 3. 円山動物園の活動について詳しく知りたい | 4. 円山動物園の運営について意見を述べたい |
| 5. その他() | |

★あなたは、どのくらいの頻度で円山動物園に行きますか。もっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 毎月1回以上行く | 2. 年に何度か行く |
| 3. 年に1回程度行く | 4. 2～3年に1回程度行く |
| 5. 5年以上行ってない | 6. これまで全く行ったことがない |

注: 本ワークショップでは、動物園によく来られる方だけでなく、あまり来ない方からも参加を募り、ご意見をお聞きたいと考えています。円山動物園を訪れた回数や、動物園に関する知識、本質問項目への回答内容などが、参加決定の優先条件となるようなことはありませんので、気にせずご返答ください。

(裏面もご記入ください)

★あなたは、円山動物園にどのような社会的役割があると思いますか。また、円山動物園がその役割への期待に応えていると思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

項目	社会的役割					期待に応えているか				
	大いにある	ある	どちらでもない	あまりない	ない	そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
ア 動物に関する知識の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ 周辺の散策路を含めた憩いの場づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 動物を通じて命の大切さを学ぶ機会の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ 自然環境の大切さを学ぶ機会の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 学校教育との連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
カ 動物の研究	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キ 自然や生き物を守る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ク 北海道を中心とした国内の動物の飼育・展示・解説	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ケ 国外に生息する動物の飼育・展示・解説	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
コ 絶滅が心配される動物の飼育や繁殖	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

★あなたは、円山動物園がどのような動物園であってほしいですか。優先順位が高いと思うものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. レジャー性を重視した動物園 | 2. 希少動物の繁殖や研究に力を入れる動物園 |
| 3. 自然や生き物の保全に取り組む動物園 | 4. 環境について学べる動物園 |
| 5. 市民に親しまれる動物園 | 6. 国内外からの観光客が多く訪れる動物園 |
| 7. その他() | 8. わからない |

本申し込み書は、同封の返信用封筒(切手は不要です)により平成30年1月16日(火)(当日消印有効)までにお送りください。※ワークショップへの参加を希望されない場合は、ご記入・ご返送は不要です。

参加希望者が定員を超えた場合には、大変申し訳ございませんが、性別・年齢等、全体的なバランスを考慮した上で、参加者を決めさせていただきます。参加者の決定につきましては平成30年1月20日(土)頃、郵送にてお知らせいたします。

来園者アンケート 実施報告

来園者アンケートの実施概況

実施日：2017年12月24日～2018年1月22日

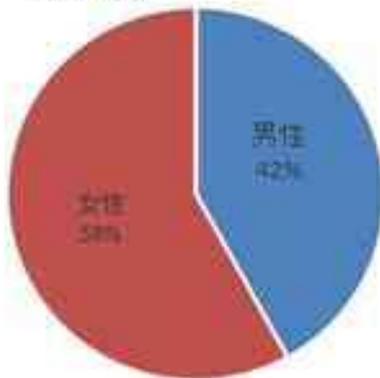
内容：正門と西門の二か所で、退園時にアンケートへの協力を呼び掛ける。対象は、日本人の成人のみに限定。協力者にはステッカーを進呈。

回答者：416人

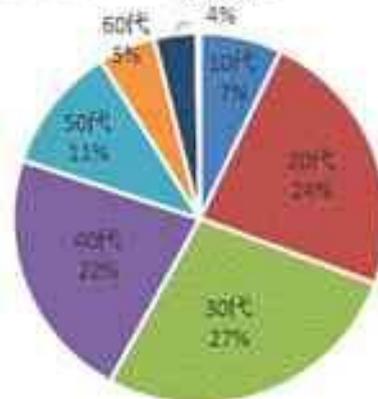
実施日	12/24(日)	1/2(火)	1/8(月)	1/11(木)	1/13(土)	
回収数	59	53	41	25	42	
	1/14(日)	1/16(火)	1/17(水)	1/19(金)	1/22(月)	計
	64	52	20	30	30	416

回答者の内訳：

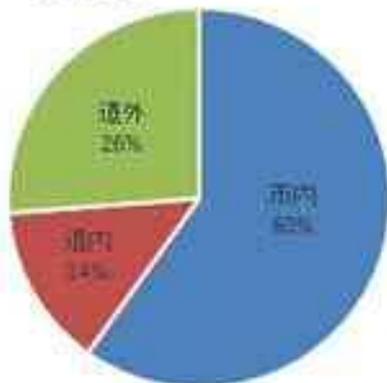
(1)性別



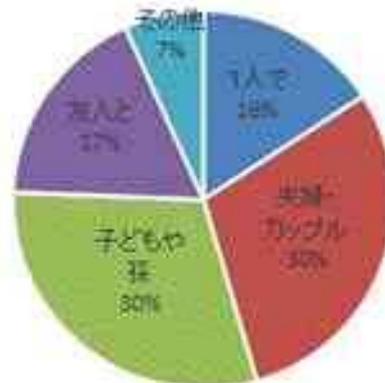
(2)年齢



(3)住まい

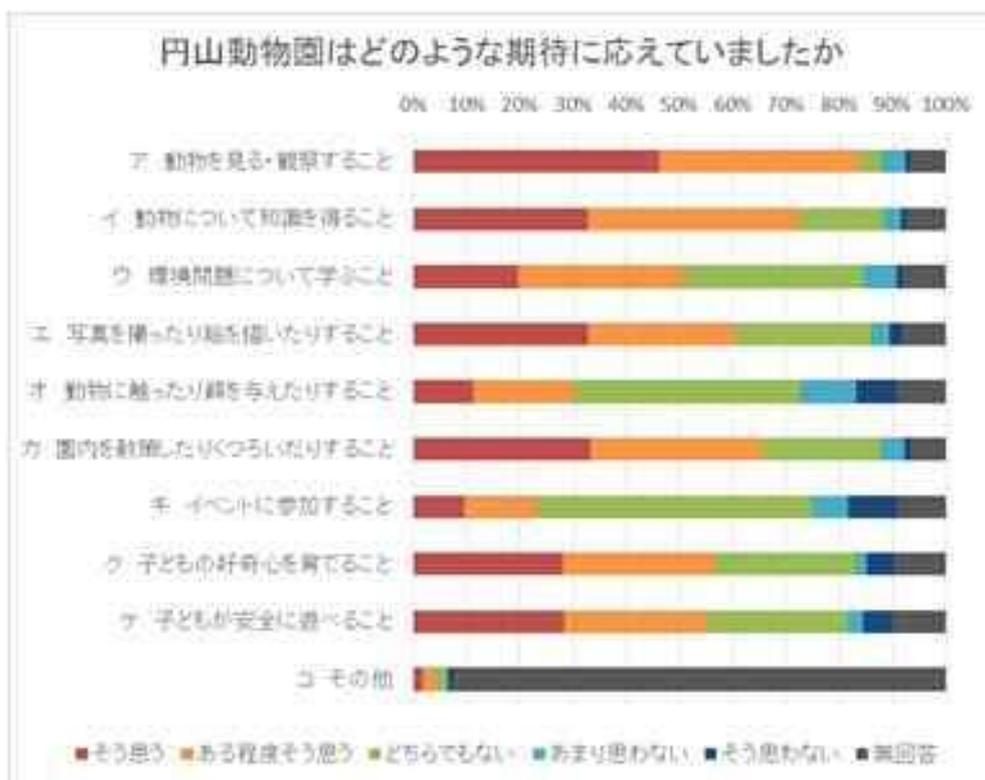
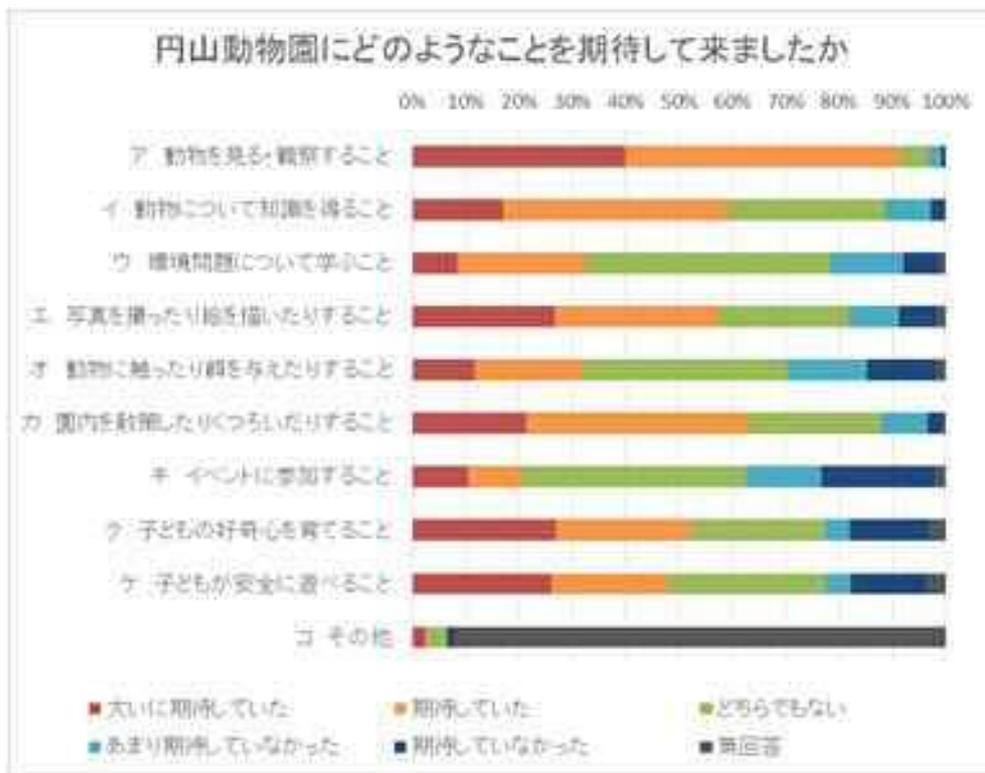


(4)同行者

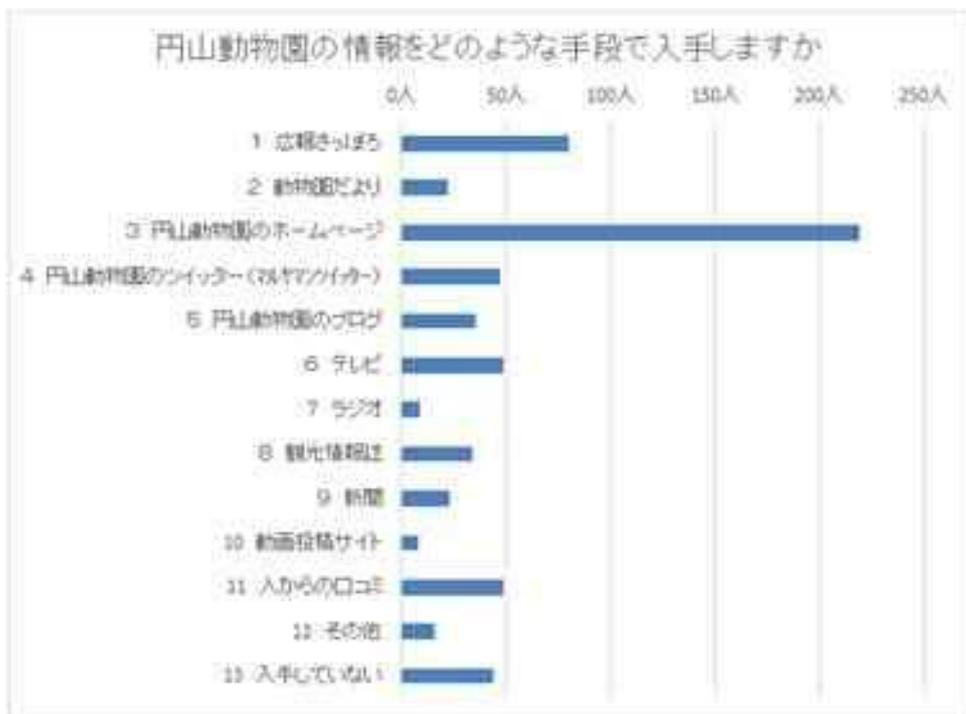


回答の概要

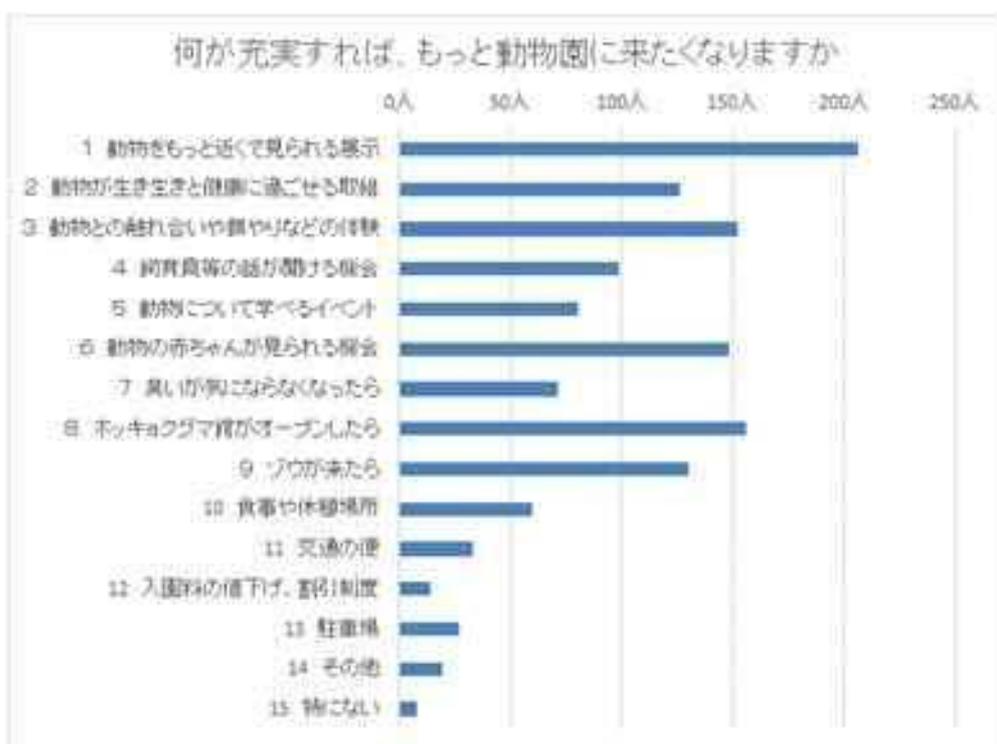
【問1】あなたは、円山動物園にどのようなことを期待して来ましたか。また、円山動物園はその期待に応えていましたか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。



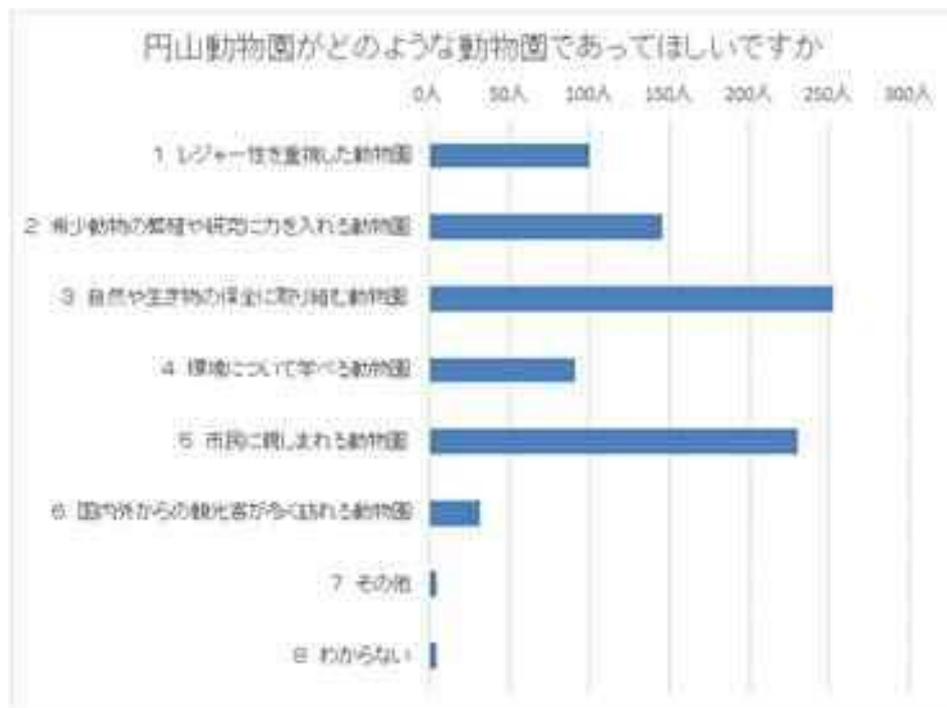
【問2】 あなたは、円山動物園の情報をどのような手段で入手しますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。



【問3】 あなたは、何が充実すれば、もっと動物園に来たくなりますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。



【問4】 あなたは、円山動物園がどのような動物園であってほしいですか。優先順位が高いと思うものに3つまで○をつけてください。



【問5】 本日、どのようにして円山動物園に来ましたか。

	計	%
1 最寄駅から徒歩で	138	34%
2 最寄駅からバスで	39	10%
3 最寄駅からタクシーで	29	7%
4 自宅から徒歩で	46	11%
5 自宅からタクシーで	0	0%
6 自宅から自家用車で	151	37%
7 その他	4	1%
計	407	

【問6】 本日の入園は、一般入園券もしくは年間パスポート、無料入園のいずれかで入園しましたか。

	計	%
1 一般入園券(600円)	195	48%
2 年間パスポート(1,000円)	175	43%
3 無料(65歳以上の市民)	22	5%
4 無料(各種手帳所持者等)	16	4%
計	408	

【問7】 あなたは、どのぐらいの頻度で円山動物園に来ますか。

	計	%
1 ほぼ毎日来る	4	1%
2 週に2・3回程度来る	12	3%
3 週に1回程度来る	10	2%
4 月に1回程度来る	50	12%
5 3か月に1回程度来る	63	15%
6 半年に1回程度来る	76	19%
7 年に1回程度来る	44	11%
8 2・3年に1回程度来る	18	4%
9 3年以上ぶりに来た	14	3%
10 5年以上ぶりに来た	12	3%
11 初めて来た	104	26%
計	407	

【問8】 あなたが、これからの円山動物園に期待したいことなど、自由にご記載ください。

- ・子供が楽しめるように
- ・園内自転車かきだし
- ・静かな環境で、おちついて期待以上に多くの動物とふれあえて、素晴らしい動物園でした。札幌市がうらやましい。また来たいと思います。
- ・頑張ってください
- ・飼育さんの説明等がきける時間にぶつかるとラッキーと思う。もっともっと飼育さんの生の声をきいて動物をみれるとうれしい。
- ・動物が天寿をまっとうできるように過ごせるとよいと思います。
- ・飲食がもっと充実していたらいいです。でも今のままでも楽しい。
- ・動物の健康維持。現在の展示動物を大切にしてほしい
- ・もっと沢山のの人に動物の良さや生き物の大切さを知ってもらえればと思います。
- ・イベント等の情報の手に入りやすさ。子供向けのマップ（ひらがな、タバココーナー不用etc. ベビーカーでの入りやすさ。小さい子が動物を見やすいサクの高さ。
- ・キリンがいるといいです。
- ・キリンさん導入！！あとは、バックヤードツアー等スペシャルなイベントがあると楽しいです。さらに、食はもう少し充実させていただけると1日中のんびりすごせていいと思います。
- ・もっと動物と触れあえる機会が増えると良い
- ・ホッキョクグマ館早く見たいです。
- ・キリンが亡くなりさみしくなりましたが、ぞうに期待しています。
- ・もっと動物がいきいきとしている姿が見たい。自然に近い展示。（アドベンチャーワールドみたいな感じ）。駐車場代がもっと安いとうれしいです。ごはん屋さん（パン屋さんとか）がもっとあるといいです。
- ・ホッキョクグマ館とゾウ館に期待しています。出来たら必ず来ます
- ・ホッキョクグマ館！
- ・レッサーパンダ館よかったです
- ・動物が意外と動いてて楽しかった
- ・これからも、子供も大人も楽しめる動物園でいて下さい

- ・冬も楽しかったので、また来たいナーと思いました。
- ・色々な動物をがんばって育てて下さい。寒い中お疲れ様です
- ・楽しかった。
- ・タイガーのアクちゃんの体調が早く良くなってほしいです。また顔を見にこようと思います。
- ・冬に来たのですが、子供が冬あそびできる物があればいいと思いました。
- ・園舎がとても清潔にされていて良かったです。水槽の水もきれいでした。カバ・ライオンのところは、においで見れませんでした。残念
- ・他に見ない展示方法
- ・今のままでいいと思います
- ・動物が良い環境で過ごせること
- ・動物のエサ代がかかることから。入園料はもう少し高くても良いのではないのでしょうか
- ・これからもまた来たい
- ・エサが貧弱だったので十分与えてあげて下さい。(さるのところ)
- ・リラの赤ちゃんが見たいです
- ・動物のためになにができるか市民がいっしょに考える場所
- ・あまりこみすぎず今のようにゆっくりみれるとよい
- ・たくさんの人に愛される動物園
- ・北海道（旭川市）に転勤の為転居して1年になります。旭川も含め雪国の動物園の運営は大変だと思います。これからもがんばって下さい。個人的には一人でのんびり散策できました。カメを飼っているの、爬虫類館楽しめました。
- ・動物が間近でみれて良かった。期待以上でした。
- ・展示屋を広く。のびのびした動物がみたい
- ・動物側にそった飼育をお願いします。
- ・家から歩いて（30分位）、バスに乗りゆっくり楽しめて最高です
- ・動物本来の姿
- ・レストラン施設、カラス対策
- ・親しみと動物のもっている意外性を更に知れる。動物園を期待します。
- ・昆虫なども含め小さな動物にも関心を持って下さい。
- ・今日はカンガルーの生態など詳しく説明してもらいよかったです。

アンケート協力者への謹呈ステッカー

Steller's Sea Eagle

Maruyama ZOO



Red Panda

Maruyama ZOO



Japanese Rat Snake

Maruyama ZOO



Timber Wolf

Maruyama ZOO



Polar Bear

Maruyama ZOO



Snow Leopard

Maruyama ZOO



円山動物園来園者アンケート

円山動物園では、より良い動物園を目指すため、来園者の皆さまから広くご意見をお伺いしたいと考えております。ぜひ、アンケートにご協力ください。

問1 あなたは、円山動物園にどのようなことを期待して来ましたか。また、円山動物園はその期待に応えていましたか。それぞれの項目について1つずつ〇をつけてください。

項目	期待していたか					期待に応えていたか				
	大いに期待していた	期待していた	どちらでもない	あまり期待していなかった	期待していなかった	そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
例 ○○すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ア 動物を見る・観察すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ 動物について知識を得ること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 環境問題について学ぶこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ 写真を撮ったり絵を描いたりすること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 動物に触ったり餌を与えたりすること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
カ 園内を散策したりくつろいだりすること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キ イベントに参加すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ク 子どもの好奇心を育てること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ケ 子どもが安全に遊べること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
コ その他 ()	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問2 あなたは、円山動物園の情報をどのような手段で入手しますか。あてはまるもの全てに〇をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 1 広報さっぽろ | 2 動物園だより |
| 3 円山動物園のホームページ | 4 円山動物園のツイッター (マルヤマツイッター) |
| 5 円山動物園のブログ | 6 テレビ |
| 7 ラジオ | 8 観光情報誌 |
| 9 新聞 | 10 動画投稿サイト |
| 11 人からの口コミ | 12 その他 () |
| 13 入手していない | |

問3 あなたは、何が充実すれば、もっと動物園に来たくなりますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 動物をもっと近くで見られる展示 | 2 動物が生き生きと健康に過ごせる取組 |
| 3 動物との触れ合いや餌やりなどの体験 | 4 飼育員等の話が聞ける機会 |
| 5 動物について学べるイベント | 6 動物の赤ちゃんが見られる機会 |
| 7 臭いが気にならなくなった | 8 ホッキョクグマ館がオープンしたら |
| 9 ゾウが来たら | 10 食事や休憩場所 |
| 11 交通の便 | 12 入園料の値下げ、割引制度 |
| 13 駐車場 | 14 その他 () |
| 15 特にない | |

問4 あなたは、円山動物園がどのような動物園であってほしいですか。優先順位が高いと思うものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 レジャー性を重視した動物園 | 2 希少動物の繁殖や研究に力を入れる動物園 |
| 3 自然や生き物の保全に取り組む動物園 | 4 環境について学べる動物園 |
| 5 市民に親しまれる動物園 | 6 国内外からの観光客が多く訪れる動物園 |
| 7 その他 () | 8 わからない |

問5 本日、どのようにして円山動物園に来ましたか。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1 最寄駅から徒歩で | 2 最寄駅からバスで | 3 最寄駅からタクシーで |
| 4 自宅から徒歩で | 4 自宅からタクシーで | 6 自宅から自家用車で |

問6 本日の入園は、一般入園券もしくは年間パスポート、無料入園のいずれかで入園しましたか。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 一般入園券 (600円) | 2 年間パスポート (1,000円) |
| 3 無料 (65歳以上の市民) | 4 無料 (各種手帳所持者等) |

問7 あなたは、どのぐらいの頻度で円山動物園に来ますか。

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 ほぼ毎日来る | 2 週に2・3回程度来る | 3 週に1回程度来る |
| 4 月に1回程度来る | 5 3か月に1回程度来る | 6 半年に1回程度来る |
| 7 年に1回程度来る | 8 2・3年に1回程度来る | 9 3年以上ぶりに来た |
| 10 5年以上ぶりに来た | 11 初めて来た | |

問8 あなたが、これからの円山動物園に期待したいことなど、自由にご記載ください。

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

- 1** あなたの性別は 1 男性 2 女性
- 2** あなたの年齢は(平成30年1月1日現在)
- | | | | | |
|-------|---------|-------|-------|-------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 | 5 50代 |
| 6 60代 | 7 70代以上 | | | |
- 3** あなたはどちらにお住まいですか。
- | | | |
|------------------|----------------------|----------------------|
| 1 市内 (区) | 2 道内 (市・町・村) | 3 道外 (都・府・県) |
|------------------|----------------------|----------------------|
- 4** 今日、どなたと来園されましたか
- | | | | | |
|-------|-----------|---------|-------|------------------|
| 1 1人で | 2 夫婦・カップル | 3 子どもや孫 | 4 友人と | 5 その他 () |
|-------|-----------|---------|-------|------------------|



札幌市円山動物園
ビジョン2050

「自然とヒトとがもっと
仲良くなれる社会を目指して」

編集・発行
札幌市円山動物園

〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘3番地1
電話:011-621-1426

円山動物園ビジョン2050

2050年までに「自然とヒトとがもっと仲良くなれる社会」

自然と人間とが共生する社会を築くことを

円山動物園のビジョン(長期目標)とします。

Principles 基本理念

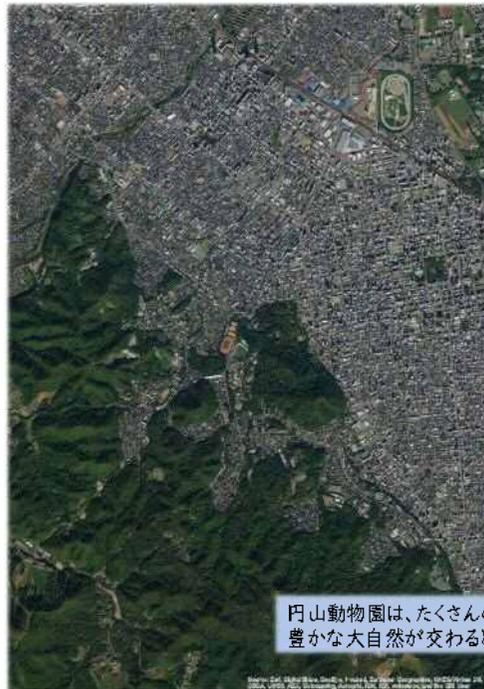
ビジョン2050達成のための基本理念を以下の通りとします。

(1)生物多様性の保全

生物多様性を保全し、持続可能な地球環境の維持に貢献します。野生動物を保全するとともに、生息地環境の保全に寄与します。

(2)環境教育の推進

来園者に楽しさや感動を伝え、記憶に残る体験を提供します。それらを通じて、動物の素晴らしさや魅力、生態系の大切さを伝えます。



円山動物園は、たくさんの人が暮らす都市部と、豊かな大自然が交わる場所に位置します。

地球のために、地域のために

地球上の数多くの野生動物が絶滅の危機にあるなか、世界中が協力して保全活動に取り組む必要があります。円山動物園もその役割の一端を担わなければなりません。一人ひとりの生活は、地球環境につながっています。世界の野生動物の生息環境の現状を伝え、より多くの人たちに地球規模の環境保全への意識を高めてもらうことも、円山動物園の大事な役割です。

一方、円山動物園は、周囲に広がる円山原始林をはじめ、市民にとって欠かせない身近な生態系を守り育ていく役割も担います。また、市民の安全かつ快適な憩いの場、学びの場としての役割、市民や学校、研究機関、企業などをつなぎ連携を促す役割など、地域のために取り組んでいきます。



円山動物園を一本の「木」にたとえ、円山動物園にとっての大事なことを表します。

この木の「根っこ」にあたるのが『動物の福祉』です。あまり自立できない地味な取り組みでもありますが、しっかりと根を張って円山動物園を地中から支えなければなりません。動物たちの幸せを追求するという姿勢をしっかりと根付かせていきます。

「幹」となるのが、円山動物園の基本理念である、『保全(生物多様性の保全)』と『教育(環境教育の推進)』です。この幹を太く丈夫なものにするために、来園者を楽しませるレクリエーション機能、調査・研究活動にも取り組んでいきます。

この円山動物園の木は、たくさんの「枝」を、地域に、そして広く地球全体へと伸ばします。展開した枝の先に、たくさんの葉を茂らせ、市民の皆さんや、学校、企業、研究機関などの声や力を吸収します。そして、皆を楽しませる「花」を咲かせ、成果という「果実」を实らせませす。

円山動物園の「木」が、他の動物園や博物館、学校、市民といったほかの「木々」と連携することで、円山原始林のような豊かな「森」を築き、さまざまな動植物そして我々人類を支えていければと考えています。

Conservation

まもる —生物多様性の保全—

円山動物園は、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という、全てのレベルで、生物多様性の保全に取り組みます。



動物園に求められる保全への貢献

近年、地球上の動植物種がかつてない速さで絶滅しています。伴侶動物(犬や猫)や畜産動物(牛や豚)ではなく、野生動物種を飼育する動物園は、ただ動物を飼育し展示するだけでなく、野生動物種の自然環境下での個体群の維持、生息地の保全に貢献することが求められています。

生息環境と生態系をまもる

野生動物の生息環境の現状を理解し、来園者に正しく伝えるため、飼育展示する動物の本来の生息地に赴いたり、地域の保全活動に参加したりするなど、現地と動物園をつなぐ取り組みを行います。

生態系レベルの多様性の維持に向けて、動物園外での活動も取り入れ、森林や河川など生態系の保全に積極的に関わっていきます。

円山動物園は、円山原始林という豊かな自然環境に隣接しています。この円山原始林という札幌市民の生活にとって欠かせない生態系を守り育てていくための拠点として貢献します。

円山動物園と地域の生態系との繋がりを重視して、哺乳類や鳥類のみならず、昆虫や植物も含めた生態系の保全に取り組みます。

地域の生態系を適切に保全するため、野生動物の個体数管理や、外来生物の除去・拡散防止にも関わっていきます。

☑ 地域生態系

地域の生態系は、植物や昆虫など様々な生物から



☑ 外来生物

外来生物とは、本来生息しない地域に人間の活動によって持ち込まれた生物です。円山動物園の周辺でも在来の生態系に様々な影響を与えています。



種や地域個体群を絶滅から救う

本来の生息地で個体数を減少させている野生動物種にとって、動物園は個体群維持のための貴重な生息地の一部と考えることができます。動物園ではこうした希少種・絶滅危惧種の飼育や繁殖に取り組むとともに、野生復帰にも取り組みます。

野外個体群の状況も踏まえて飼育下での血統管理や遺伝的多様性の管理を行います。

☑ 北海道ゾーン

北海道ゾーンの紹介



☑ 域外保全と野生復帰

生息域外保全とは本来の生息地以外の場所で種や個体群を維持することです。動物園で飼育した個体や、園内での繁殖によって生まれた個体を野外に放することで、野生個体群を維持できる場合があります。



地球規模の持続可能性を考える

自然エネルギーの導入、環境負荷の小さな商品の選択、温暖化防止につながる対応(公共交通機関の使用、不要な冷暖房の軽減)、廃棄物の分別や削減など、地球環境の保全につながる方策を推進します。

地球規模の環境問題の取り組みのためにSDGsを念頭に置いて、活動します。

☑ SDGs(持続可能な開発目標)

持続可能な発展のために17の目標をたてて臨んでいます。その中でも、地球環境をまもることなどが、円山動物園でも関わっていく必要があります。



Education

伝える —自然の大切さと動物の魅力—



動物園では、たくさんの「感動」を通して、動物の不思議さや魅力、そして自然の大切さを感じてほしいと願っています。動物園が入り口になって、野生動物や自然環境への関心をもっともっと引き出すことを目指します。



動物園はメッセージの発信基地

「自然と人がもっと仲良くなれる社会」を実現するためには、人々の環境に対する意識を大きく高める必要があります。動物園は、園内で暮らす動物たちの力を借りて、生息地環境の現状や保全の必要性を発信することができます。また、動物の多様な生態や行動は、豊かな自然環境を大切に思う心を広く育む機能を持っており、自発的に環境行動をとる動機付けの場ともなりえます。

“生きている”を伝える博物館

動物園は生きた動物を展示する博物館です。動物の生の姿、声、匂いを実際に感じることで、テレビやインターネットとは異なる、本当の生命を実感してもらうことが動物園の大きな特徴です。来園者に豊かな感性を育んでもらえるよう、展示の仕方を常に改善し、よりよい伝え方を考えていきます。

動物園全体のデザイン（トータルデザイン）も、円山動物園のコンセプトやメッセージを伝えるために重要な意味を持ちます。展示やサインだけでなく、施設の造形や外観、構造物など、隅々に至るまで、重要な教育教材となります。隅々まで教育的な配慮が行き届くような施設を目指していきます。

子どもだけでなく、大人にも満足してもらえる学術的な内容や、幅広い年齢層に対応できるプログラムやサインを導入します。



☑ 充実したサイン

- 展示している動物や生息環境のことを解説する看板のことを「サイン」と呼んでいます。サインは、たんに展示動物の情報を提供するだけでなく、より関心や興味を深めてもらえるようなものへと改善していきます。

サイン写真

☑ プログラムの充実

来園者が参加できるプログラムを充実させます。バックヤードを用いた見学・体験プログラムをはじめ、野外での調査活動や自然観察会を通して、地域の生態系に関する普及啓発を実施します。



野生へ誘（いざな）う扉

動物園を訪れたことをきっかけに、普段からより野生動物に親近感が持てたり、身近な生き物への関心が高まるなど、動物園を入り口として野生動物や自然環境への関心を引き出すことを目指します。

飼育動物の本来の生息環境に思いを馳せてもらう、野生下での現状についても考えてもらえるよう工夫します。

適切な野生動物との付き合い方を考え、それを来園者や市民に伝えることも必要です。野生動物種の飼育展示を通じて、愛玩動物（ペット）とは異なる、野生動物とのつきあい方、生命観を考えてもらう場を目指します。

学校教育にも有効に利用してもらえるサインやプログラムを作成します。学校教育との連携を深めるため、園内を活用した環境教育プログラムを積極的に小中学校に向けて発信していきます。また、より動物や環境への理解を促すための教材の開発、博物館や外部の自然観察会などの連携により、発展的な教育を目指します。

間近に見られる姿、自然な景観の中に溶け込んでいる姿など、動物の展示方法を工夫し、多様な楽しみ方を提供できるよう取り組みます。

☑ 自然観察会

普及啓発の場合は、動物園内だけにとどまりません。自然観察会や、講演会、講師派遣などを通して貢献します。



Recreation

楽しむ —より創造的に—

動物園を、より楽しく、より居心地のよい場所にしていきます。

良質な憩いの空間を提供

来園者の皆さんにより楽しんでもらうために、サインなどの展示物について工夫を凝らしたり、体験型のイベントや、案内ガイド、特別展の実施などの取り組みを充実させます。

動物を観察したりサインを閲覧したりするだけでなく、動物の絵を描いたり、写真をとったり、お弁当を食べたり、くつろいだりと、様々な利用の仕方を満足してもらえるよう、安全で快適な空間を目指します。

誰もが気軽に訪れることができ、安全に楽しく、気持ちよく過ごせる場所とするために、利用者の声をよく聞き、ニーズに合った施設づくりを行います。職員全員が、来園者への対応、案内、解説の技能の向上を目指します。

売店や食堂施設なども含めて、動物園全体で楽しんでもらえるよう。細部にまで配慮して、動物園全体をトータルで考えます。



レクリエーションの場としての動物園

世の中には、多様な趣味や娯楽が存在します。動物に関心をもち、観察したり知識を得ることを楽しむことも、子供から大人まで非常に浸透したレクリエーションのスタイルの一つです。円山動物園は札幌市の公共施設として、札幌市民に良質なレクリエーションを提供する役割を担います。動物に関する知的好奇心や娯楽的欲求を満たせるような、楽しく居心地のよい時間と空間を提供することが動物園の役割だと考えています。

☑ 展示の工夫

いつまでも見ていたい、何度でも見たい、見るたびに違った動物の姿が見られる、そんな展示方法を目指します。動物たつがいきいきと本来の姿を見せてくれる展示施設を目指せば、よりいっそう楽しい空間になるでしょう。



なぜ動物園で調査・研究?

野生下での生態や行動が分かっていない動物種は数多くあります。動物園の飼育動物を対象とした研究は、野外での研究を補完し、野生動物の保全に貢献することが可能になります。また、人類は、様々な目的で動物を飼育しています。動物園が取り組む繁殖や飼育に関する研究、最適な飼育環境を整えるための動物福祉に関する研究は、動物園だけに限らず、広く世の中の動物の飼育状況の改善に役立ちます。

すべての事柄について探求する

動物の生理や行動に関する内容、獣医学的な内容を主な対象としつつ、それ以外にも、たとえば動物園の効率的な経営や利用者の動態といった運営に関する研究、野外の保全活動に寄与するための研究など、動物園に関係するすべての項目に対して、調査や研究を推進します。

調査・研究をより効果的に進められるよう園内の体制を整備します。できるだけ多くの職員が、調査・研究に携わることのできる時間と環境を整えるとともに、外部機関との共同研究を効率よく提携できるように、また外部からの研究協力の要請に対応できるような体制を作ります。

調査や研究の結果を、可能な限り学会や論文で公表し、関係機関に情報を提供します。また、市民向けの報告会を実施したり、報告書を作成したりして、市民にも分かりやすいかたちで社会還元するよう努めます。



☑ センターラボ

円山動物園にはセンターラボがあります。希少な爬虫類両棲類の飼育や繁殖に取り組んでいます。



☑ 共同研究

大学や研究機関とともに共同研究を進めます。動物園を調査地にする場合もあれば、園内の動物を研究機関で調査してもらうこともあります。



共同研究のようす(ざっぽろMラボ北大工学部) (札幌市立大)

Research

究める —調査と研究—

研究機関や市民団体と協力して、野生動物種の生態の解明をはじめ、動物園に関するさまざまな調査・研究に取り組みます。

Animal welfare

担う —動物園でくらす動物たちへの責任—

動物を飼育する上で、動物福祉に最大限に配慮ことは動物園の責務です。最も適した飼育方法や健康管理を行うよう、つねに最先端の試みや新たな情報と技術を取り込み、改善する努力を続けます。また、飼育動物の生活の質を高める工夫をつねに探求し、取り入れていきます。

動物福祉を第一に考える必要性

飼育下にある動物には、動物福祉が求められます。動物福祉を充実させることは、なにより来園者に楽しんでもらうために必要です。動物たちのいきいきとした姿を見てもらうことが、動物園が提供すべき大事なサービスだといえます。動物園を憩いの場として機能させるためにも、動物福祉に配慮することで、気分よく動物を見てもらいたいと考えています。また、動物福祉の充実、研究や教育面での効果も伴います。本来の行動と乖離した不自然な状態は正しい調査・研究の妨げとなるため、動物福祉の実践は研究上で不可欠です。できるだけ本来の行動を来園者に見てもらうことは、動物に対する理解を深める教育的効果にも繋がります。

動物たちの安全と健康を保証する

動物たちに、飢えや渴きを感じさせず、本来の食性をしっかり考慮したうえで、栄養面をふまえた正しい飼料を提供します。

万全の医療体制を整え、質の高い獣医療の導入を目指します。日頃から動物診療技術の向上に努め、動物たちの病気や痛みに対して、適切な獣医療を施します。

必要な医療行為や健康管理であっても、ときに動物たちに辛い思いをさせることもあります。動物たちの恐怖や抑圧をできるだけ取り除けるよう、適切なハズバンドリートレーニング（診察や治療を受けやすくするための普段からの訓練）を取り入れます。



ハズバンドリートレーニング

診察や治療を受けやすくするための普段からの訓練のことを、ハズバンドリートレーニングといいます。たとえば採血をする際に、毎回麻酔で眠らせるのは大きな負担です。採血が大きなストレスにならないよう普段が慣れさせる訓練をします。

ハズバンドリーの写真

治療・診察

動物にとっての苦痛を減らしたり、異常な行動の発現を抑えるための、しっかりした治療や診療体制をとります。

診察中の写真

診察中の写真

できるだけ自然で快適な暮らしを

可能な限り本来の行動をとる、もともと持っている能力を発揮できるような環境をつくるよう、継続して改善を目指します。

本来の生息域になるべく近い環境、あるいは各動物種の生態にあわせた環境を作り出せるよう、動物舎のデザインの改良、飼育環境の改善に努めます。

つねに新たな環境エンリッチメントを導入し、動物の生理的・行動的な要求を満たせる機会をあたえて、行動バリエーションを豊かにする取り組みを進めます。

環境エンリッチメント

環境エンリッチメントとは、よりよい福祉状態を実現するために、動物に課題と選択の機会を与えることです。餌の与え方を工夫して、時間をかけて餌を探す行動をとらせたりします。

写真

写真

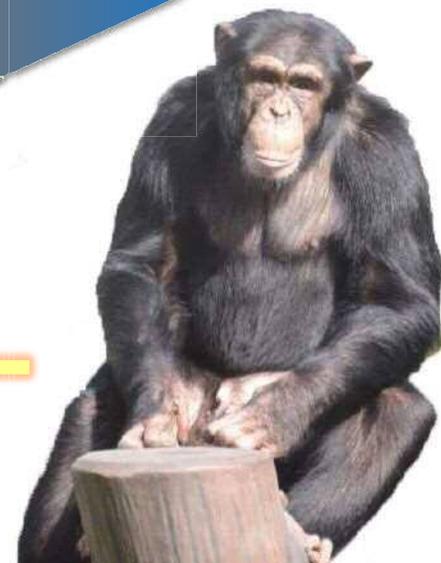
より良い飼育体制を目指して

適切に動物福祉の取り組みが進められているのか評価するため、モニタリング手法を確立させ、ガイドラインを整備します。生理的な指標、臨床的な指標、行動観察など、科学的な基準を導入して、動物の福祉の達成を評価します。

求められる動物福祉の状態を達成するためには、飼育面積の確保も必要です。計画的かつ適切に、飼育種数や飼育個体数を検討していきます。

動物福祉の概念や達成手段は非常に多様です。職員が共通の認識をもてるよう互いに情報や意見の交換を重ね、動物園をあげて飼育の質を高める努力を続けます。また、最良の動物福祉を实践できる人材を育成します

飼育・展示施設も、つねに動物福祉を念頭において、改善・改修します。十分な飼育スペースの確保を目指すとともに、老朽化への対応、最新設備の導入など、動物たちが安全に快適に暮らせるよう動物舎の補修や新築に取り組みます。



Cooperation

つなぐ・つながる 一力をあわせて共に未来へ

様々な立場の方といっしょに保全活動や環境教育活動、調査研究を進めます。また、動物園が中心となって、連携する絆をつくりあげる役割も果たします。



動物園にとっての連携とは

動物園が理念を達成したり責務を果たしたりしていくためには、他の動物園・水族館、外部の関係機関、そして市民の方々との繋がりが欠かせません。動物園が、メッセージやコンセプトを伝えるだけでなく、円山動物園自身も、様々な方々とともに学び、ともに考え、ともに成長していきたいと考えています。また、動物園は、様々な関係機関同士をつなぐ役割も担います。企業や公的機関、民間組織、市民などさまざまな人に利用してもらおう動物園だからこそ、それらの間を取り持つ役割を果たすことができます。

市民や市民団体との協働・連携

生物多様性保全を掲げる札幌市と足並みをそろえ、札幌市の環境保全や、市民参画の推進、人材育成に貢献します。

円山公園をはじめとする市内の公園施設や、地元の市民団体などとも共同して、地域の生態系保全や環境教育に協力して取り組みます。

ガイドボランティアをはじめとし、様々な分野でボランティア活動を拡大し、動物園運営への市民参画を進めます。

動物園から、他機関の活動や、実際の野外での観察行動につなげることで、保全活動や教育活動をより発展させることができます。共通の目的や理念を有する外部の諸活動と連携し、保全や教育のより大きな目的の達成が図られます。



他の動物園・水族館との協働・連携

国内外の動物園や水族館と、積極的な情報共有や連携を進めます。円山動物園だけでは、各動物の血統管理や域外個体群の維持は成り立ちません。繁殖計画や収集計画を立案するうえでも他園との連携は不可欠です。他園との連携により、希少種の保全や野外個体群の維持、包括的な普及啓発に貢献します。



・会議シーン？
・JAZAの会合とか？
・動物の移動・輸送？

民間企業との協働・連携

- ・ 財政支援
- ・ PR



・ 施設工事のようす
・ 植樹

学校・教育機関との協働・連携

小中学校や高校をはじめとする教育機関、および博物館など教育施設との繋がりを深め、環境教育活動を多角的に推し進めます。

動物園を訪れる小中学校などに対し、園内での活動を有効にサポートできるよう、学校教員との直接的な関係を築けるよう園内環境を整備します。

園内に留まらず、出前授業や講演などの園外活動にも積極的に取り組みます。教育機関や市民団体と共同で、学校の副教材や学習資料を作成するなど、幅広い教育活動を展開します。

動物園内で地元の生態系について学んだあと、円山公園や円山原始林で自然の動植物を観察したり、園内を流れる円山川で自然の動植物に触れたりするなど、近隣の生態系と動物園の有機的な連携を図ります。



・出前授業（外部）
・遠足（園内）

学術機関との協働・連携

大学をはじめとする研究機関と連携を強め、動物園に関するあらゆる研究活動の充実と研究成果の共有化を進めます。

海外との協働・連携

国際基準を達成できるよう、海外との連携を強化します。飼育や運営に資する情報を入手するだけでなく、保全に関する国際的な動向を把握したり、生息地の近況や最新の知見などを取り入れます。

とくにアジア圏の動物園、研究機関、保全団体などとの連携に力を入れます。円山動物園がアジア地域のネットワークの中核を担い、アジアの生物多様性保全に大きく寄与できるよう努力します。

世界動物園水族館協会（WAZA）やアジア動物園水族館協会（AZA）など、国際的な機関との連携を積極的に進めます。



・国際会議シーン？
・の打る合わせの場面？
・視察（海外の関係者とともに）

Collection Plan コレクションプラン

Compliance コンプライアンス

(1) 基本方針

条例制定が必要なことを言及

円山動物園は法令遵守にとどまらず、社会常識に基づいて行動し、札幌市の定める内部規定や業務マニュアル等に基づいた業務を行い、お客様や地域から信頼される動物園を目指します。

(2) 具体的な取り組み

(内部統制(ルールの遵守))

相互チェック体制、監査結果への適切な対応、内部ルールの明確化(既にあるものについては、その周知徹底を含む)、マニュアル作成、適切な業務引継ぎの実施

(報告連絡体制)

緊急事態発生時の連絡体制の明確化、事故等発生時の原因究明と再発防止、風通しの良い職場環境作り、職場外相談窓口の活用

(リスクマネジメント)

非常事態に備えた訓練、安全衛生対策、対外的な信頼の確保(特に情報提供、広報、SNS対策)、第三者評価

(職員研修)

内部研修、外部研修の計画的実施、法令に基づく研修、法令や内部規則等に関する知識についての研修等

Framework 実施体制

(1) 「動物福祉第一の円山動物園」を目指すために必要なこと

今回新たに作成した基本指針「札幌市円山動物園ビジョン2050」では、動物福祉第一の視点から、動物福祉の充実を図るとともに、「動物園にいる動物は、その動物の生息地からの代表」と考え、動物が生息する環境の保全にも取り組むことを目標としました。

今回新たに指針を作成するに至った背景には、マレーグマの死など近年円山動物園で発生した問題がありました。これをきっかけに札幌市円山動物園基本構想(平成19年3月策定)の改定が必要との認識に立ち、ポスト基本構想作成のため、職員や外部検討委員が議論を重ねてきました。そこでは新たな動物園とは何か、円山動物園は何を目指すかが議論され、動物園は動物展示以外にも、様々な責務や役割が求められていることが分かりました。これらのうち特に重要と考えたのが、動物福祉と生息地保全です。世界の先端を行く動物園は、いかに健康な状態の動物を飼育するか。そして、それらの動物種の野生での保全をどう図るかを課題に、動物園の運営・経営に取り組んでいます。世界都市を目指す札幌にある円山動物園ですから、同じ課題が課せられていることは自明です。

これらの課題を解決するため、本指針「札幌市円山動物園ビジョン2050」は作られました。この指針を着実に実行していくためには、これを可能とする財源確保や組織体制の確立等が必要となり、また、市民や事業者の協力が欠かせません。

このため、次のとおり動物園(市)、市民、事業者が必要とされることについてまとめました。

札幌市円山動物園ビジョン2050が目指す円山動物園は!

動物園は動物を見せる展示施設から、多様な楽しみがあり、多様な満足が得られ、笑顔(スマイル)があふれる、多様なサービスを提供するレクリエーション施設へとかわることが必要と考えます。

例えば次のような・・・

☆多様な楽しみを提供する動物園

- …子供が動物を見る楽しみ
- 多様な動物の姿を見て癒される楽しみ
- 緑多い円山地区で過ごすことの楽しみ

☆多様な満足が得られる動物園

- …知的好奇心に対する満足
- 世界都市札幌の誇りを感じられることの満足
- 地球レベルでの環境保全や生物多様性保全に寄与することへの満足

☆いろいろなSAPP_RO笑顔がある動物園

- …動物を見る人の笑顔があふれる動物園
- 動物も笑顔になるやさしい動物園
- 広々とした空間、緑に癒され笑顔がこぼれる動物園(円山公園)

○動物園

- ・長期的、計画的かつ時機を得た予算執行
- ・主体的な運営・経営判断のための自主的財源の確保
- ・基本方針に則した施設設置・デザインのガイドラインの明確化
- ・合理的判断に基づく費用対効果の徹底と予算執行・事業評価
- ・札幌市民の誇りを裏切らない、動物の尊厳を重視した動物福祉
- ・常時戦略態勢の広報(広報・普及・教育)体制を確立
- ・動物園運営に係る最先端の情報を収集するためのネットワークの国際化
- ・外部連携を促進するための体制の確立
- ・普及啓発、環境教育の効果的な実施のため市民団体等の組織と連携し相乗効果を発揮
- ・大学や研究機関等と連携し、科学的知見を飼育に導入。あわせて飼育環境の科学的評価を実施
- ・多様な要求に応える職員とそれを支える組織体制
- ・経営・運営理念を着実に継承していくことが可能となる組織体制の確立
- ・円山動物園ビジョン2050を着実に進めるための法的枠組みの整備

○市民

- ・動物園に遊び、学ぶことを大切にする市民
- ・動物園を通してSDGs、生物多様性保全など、世界共通の目標を理解し、日々の生活で行動する市民
- ・より多くの市民が動物園から知的満足が得られるよう、動物園の教育・普及活動をともに行う市民

○事業者

- ・動物園を通して世界の動物の生息地保全に寄与する活動に取り組む事業者
- ・動物園を通してSDGs、生物多様性保全など、世界共通の目標のゴールにともに取り組む事業者
- ・動物園での活動を通して、世界の持続的発展に寄与し、世界レベルの視野を持ち活躍する事業者
- ・動物園が札幌市民の誇りとなるよう、動物園の質的向上をCSR(社会的貢献)により支えていく事業者

(2) 整合性を図る札幌市の諸計画とそのポイント



基本指針にあるように円山動物園は「保全」、「教育」、「動物福祉」を目指すこととなります。これにより円山動物園は「動物第一」を掲げる動物園に生まれ変わり、多面的な機能を持つ都市施設となります。そして、札幌市が策定する諸計画との連関をはかることで、より効果的にその機能を発揮させることが望まれます。

<理念、目標、実施事業等が共有化でき、相乗効果が期待できる計画とそのポイント>

○生物多様性さっぽろビジョン

- ・豊かな生物多様性と共生する都市づくり
- ・環境首都・札幌にふさわしい生物多様性に配慮したライフスタイルの実践
- ・自然環境と一体となった文化や知恵、景観など、伝統資源の継承及び創造

○第2次札幌市環境基本計画(策定中)

- ・次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市「環境首都・SAPP_RO」
- ・都市と自然が調和した自然共生社会の実現
- ・持続可能な都市の実現のため、環境施策の推進をSDGs達成につながる

○「環境首都・札幌」宣言

- ・愛すべきこの都市をより良い環境で次世代へ引き継ぐため、新しい道を創造していきます
- ・地球上のすべての人々が平和で安全に暮らせるよう、私たち一人ひとりが、知恵と力を合わせ、勇気を持って行動していきます

○札幌市まちづくり戦略ビジョン

- ・北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち
- ・互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち
- ・市民が環境について学び行動するまち
- ・都市の価値を高めるみどりを生かしたまち

○札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015

- ・自然と共生する環境負荷の少ない街
- ・魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進
- ・シティープロモート戦略の積極展開(SAPP_RO笑顔になれる街)
- ・世界都市として魅力と活力あふれる街

○札幌市環境教育基本方針

- ・持続可能な社会をつくるため、環境保全・創造に向けた意識を持ち、自ら考え行動する「人」と「人の人のつながり」を育てる
- ・自然や命を大切にする感性を養う
- ・札幌市の自然や社会的特性を踏まえる
- ・国際的視点に立つ

○(仮称)札幌博物館基本計画

- ・札幌というフィールド全体で博物館活動を展開することで、市民が札幌独自の自然・歴史・文化の魅力を再認識する。
- ・博物館としての札幌(フィールドミュージアム)を観光客に発信することで、観光客の満足度を高める。
- ・札幌の都市ブランド向上を目指す。

※博物館の具体的取組…札幌の貴重な文化遺産や自然遺産を大切に保存し、まちづくりに積極的に活用していくこととしている。これらは新たな動物園がその柱として考える「保全」と強く連関する。

園内検討会議 基礎データ

*ゾーン・施設名を書く

*動物名を書く

【ゾーン】

【動物名】

1 保全に関する 取り組み状況	<p>*当該動物に関する国内外の取り組みを把握している範囲で書く</p> <p>IUCN レッドリスト： CITES： JCP (ジャザコレクションプラン)：JSMP 種 JSB 種 維持種 調査種</p>
2 飼育の持続性	<p>*国内外飼育数・寿命等より飼育が持続可能かを書く</p> <p>評価 高い ○ △ × 低い</p>
3 動物福祉の充実 のために必要な要 素を実行できるス ペースの確保	<p>*動物の能力発揮・危険からの回避のためのスペースが確保されているかを書く</p> <p>現状：スペースある ○ △ × スペース無い</p> <p>協会等基準面積 (AZA,EAZA 等)： 必要と思われる面積：小 中 大</p>
4 教育・メッセージ	<p>*当該動物で伝えられるメッセージ等</p> <p>気候変動、環境汚染・開発、疾病等による生息地の破壊や個体数の減少、乱獲（ペット、ハンティング、食用など）、密輸、産業動物、絶滅、情操教育、動物園における保全、生息地の多様性（砂漠、森林、サバンナなど）、特徴的な生態、食物連鎖や生態系における特徴的な位置付け（アンブレラ、キーストーン）、地域の自然保全、その他（ ）</p>
5 将来可能性	<p>*飼育施設の新設改修・混合飼育・他種の飼育廃止等</p>
6 その他 留意事 項・アピール要素等	<p>*ブリーディング個体、姉妹都市寄贈個体、繁殖賞種、国内希少種等</p>